離宮内で終日御讀書

隨員は知人訪問や市內見物

一日御休養

ん、知人を誤同或は市内見物に出以來初めて個人の資格を以てそれ

若人の奉迎に

内閣審議會委員に

陸軍側からも選任

第八日(十三日)の御

ストレ

ーザ會議地(マジョーレ湖畔の風光)

利用して兩國々交の恒久 一般による日ソ間の 一般による日ソ間の

側より莫大の物資がソ職に輸出せ

闘朝を命じた、同氏は去る八日モ

川谷商務官の意見聽取

学校

וויט

かり タ 盛武 村本 人行数 治代音本橋 人輌線 生 順 里 南 人刷印 地番一相町関公東市連大 社報日所統計會式株所行数

洲國邊境の

支那の日滿接近は掛聲のみ一

蘇聯の極東への輸送力増大

世地が決定せぬのでまだ正式

自

近情

判獨政策を慎重協議 -ザ會議第

八時縣一次公式コムミユニケを殺戮したが、ベラ島には代表以外の者は一切近づけず繁茂戯歌を極めた外間ラヴァル氏、伊龍程敷外組ムッソリーニ氏、外務次官スヴィッテ氏、野英大使グランデ氏で、倉藤は午前、午後に建つて行はれ午後外組ラヴァル氏、伊龍程敷外組ムッソリーニ氏、外務次官スヴィッテ氏、野英大使グランデ氏で、倉藤は午前、午後に建つて行はれ午後外間ラヴァル氏、伊龍祖教外組みリングと氏、同次官ヴァンシッタート、駐伊大使ドラモンド氏、佛龍祖フランダン氏、午前十時より開催された、出席各國代表は英外相サイモン氏、同次官ヴァンシッタート、駐伊大使ドラモンド氏、佛龍祖フランダン氏、中間十一日最関通』欧洲平和後橋の確立を期すべきストレーザ倉譲はマジョーレ湖に浮ぶべラ島ボロメオ宮殿内音繁質で十一日

歐洲は危機に直面

伽國の對聯盟覺書內容

現狀打開のためには異常な努力を一、佛領ライグランドの不可侵性。危機にある事を指摘すると共に、同の緊索は大體左の如くである

態度强硬

るストレーザ會議に職しドイッけの再覧師を容認するか否かを決す

京、十七日午前南軍司令官と會見十六日午後九時春のひかりにて來 懇談を行ひ、十八日雕京モスクワーク後の日満蘇園諸問題につき重要

の前数電線區司会部奉天支部長機 今回高崎職隊に大隊長として榮朝 横田少佐赴任 在満威想を語る

三黨首訪

心め苦慮し、副會長に高いない。 仕内能を得たので、

わが銀行家の意見を其儘採用

り財政計畫

受害田戯治氏と前後三回。 「で縁近の宋氏の魅惑記載は吉田氏」ると の建築をその儒採用し

宋子文氏の親日態度

電々局所長會議 ▲石丸素一氏(銀行員)同上陶京 (駐日白國大使)十二日出帆の 長平丸にて天津へ

蛇角層

一回都で食の大安養り、さあい 0

誠意の人である。 怪談に終るか判つたものでない。 高田商議會頭は熱の人であり、

呼吸器病科 科爾代謝病

その人の許意表明は、羅進大連である。

からなさつたら知何でございませ ち。明日は三光所像のことに瞬し て、根談ことや何やかやで、東京 館師で御茶の館を除くと呼言つて 下さいましたら。事能、三光所像 の謎も出るわけで 御座いますか ら、まんざら嘘と云ふわけでは御 座いません。また、東京餐館の方 にあらつしやいましたら、この有 川が、そこは上手にとりなして御

と、何かあかるい新様で家に魅っと、何かあかるい新様で家に魅ってきた。宮内と云ふ帯年も、せき

国に制はぬ しまる如きとの財験から、財政戦より常然委 である。 関と不可分様から意思表示をなす響である。

思表示せん

学を行ふ常正である 学を行ふ常正である 学を行ふ常正である 学を行ふ常正である 学を行ふ常正である 日午前八時着列車で新京より來連した、車中同少將は翻る 軍警合作後は各地とも軍警問の 間柄が極めて圓漏で非常な好成 額をあげてあるのは塞に喜ばし い事だ、これといふのも岩佐司 除を巡視した後同日歴世の響なほ矢野少將一行は十三日成順部 扶桑丸 矢野少將巡視 他外着の豫定 十三日午前七時二 有川は、せき子の心がうごいたのをみてとると、「縁むのさつばりした立派な方ないですよ。金ばなれもよく、動像のさつばりした立派な方ない。

司氏の寫真は誤りにつき訂正す

三栗剤正)同日正午 殺はとに行章一氏(勝東軍軍醫部陸軍管官人(東日社員)同上北行

たことはありません。現に商舎の一つでした無持ですよ。なアに大し はありませ

た低なのですから、御心配なこと 総談の方のことは、お母アさまと 総談の方のことは、お母アさまと につきりと呼ぶつてお願りになつ



關東軍第二課長 **加本大佐談** 功と考へてゐるのも無理もないらソウエート側で北鐵護波を成 の整備や装備の充實に北鐵讓

大體平穏で

ある、先日玉田

安隊員約二百名が改編

て來たので何とか話も進むだらかしポイルノールの漁期も迫つ 却々歩々しく行かないのだ。

大部分の兵力を歐露に引起 闘の完備を機として

工團體聯合會總會

廣動

消組反對

を伴び大連徹兵隊巡視のため十二周部政策機比雄中佐、山村東大尉の開東軍國兵司令部附矢野機少将は

大田大使旅程

よく協力してくれるからで、重を、験官諸氏が時勢を知られてと、験官諸氏が時勢を知られて

十二日午前八時春列車で來達 十二日午前八時春列車で來達 十二日午前八時春列車で來達 一課長)同上 ●預遊通氏(繭洲園参議)同日 年前九時發売じあにて歸任 午前九時發売じあにて歸任

で、もちろんお先機はこちらに登った。もちろんお先機はこちらに登った。 性質で、彼女の心のなかでは、もせき子は物事を善良に解釋する 子にきて頂くことは、御承知なん

らないのですが、一寸保養で別所 ります。いづれ先方の親側さまに ります。いづれ先方の親側さまに 「でも、明日になってから、そんな際に行くのは既たなどゝ、歌々な際に行くのは既たなどゝ、歌々

面目一新!!

型の出現・・・・ 發製 賣造 三菱商事株式會社日米商店

强くて徳な

愛と破壊へこ 愛戀十字街(38) 橋本八百二繪 原六

予宮内正確を三光商會の出資者と青地剛太と有川は、大地主の息 光爾會で部内正確に引き合はされ功し、明子の母も、それとなく三 温良な青年のやうな感じでながめ、 して抱きこむことに、ほとんど成 が、いづれはりましたら早速にお

さんと云ふ方、波してお願さまに、さんと云ふ方、波してお願さまに、せんが……。」

の計算する。
へばその位のものである。支那

めず追ひ返へしたが、事件といを甲出たが満洲國側はこれを認

な掛撃だつたが、却々實は添はの日前南國への接近も一時大變

てきた明子が、急に総談のことは

調でいったことである。 何故、然に態がそんなことを云 りだしたのか、せき子はその無常、 が解せなかったが、この不安が、 かすかではあったが、この不安が、 やうに 今ものこつて ゐた のであ

らにおみらけ歌しました」 「熨さま、そりや娘さんのころの「わたしも大艦、お店派な方のや」ともなげに窓ひだしてになりました?」

店約特事商菱三 賣贩

"野球を語る座談會

人目のない公園の午 …

明晩實滿各選手が放発

春のウヰンクピムスメ心の切なさ

るかしら?

十五日朝七時二十分着達

"契約を履行せず

生活豪奢を極む

の内容

(日曜土)

さに絡まる「不正事

經営者東氏への不信任から 舊債權者團起つ

石炭公司社員

海務協會內

拉致さる

匪賊卅に襲はれ

一切の法律手續きを某々兩総護士の附衞民事訴訟を提起するに決定

の日本視察園 皇軍慰問のため十一日年

は耐水大連會館の内情に就き続き る不正事性は耐水大連會館の内情に就き続き る不正事性の の変勢な生

懸賞で募

S低炭敷出中肥販三十名に變はれた影響はただが出中肥販三十名に變はれた。 大名を使いますが、大名を使います。

兵一名重傷 匪賊と交戦 北満に わが軍の戦死傷七名 頻々 た る匪害 綠化遲談會

一週間に亘り緑化週間を催すが、大連市社會課では來る二十日から

市社會課で

芝浦に繋留中の日満航路連

京で盛大なる就航波器を催したが京で盛大なる就航波器を催したが 合 監視く 能内を領視察遊ばされた 以て職失とする、十日高級富懸下 以て職失とする、十日高級富懸下 途に就き十七日大連に入港する、が同艦は十四日出帳、處女航海の

する響である は現場關係者を各々招待するが、 人造堂をは開係先を、翌十八日

翌日一般に開放

延治、井上正雄、小池忠三 古、田中則人(以上營口)

坂井顯史、松坂治八(以上安東)小林毅、本村賢(以上撫順)小小林毅、本村賢(以上撫順)小小林毅、本村賢(以上撫順)小小林毅、遊部巖夫、

外國船員慰安の名に隱れて

當局も呆れる醜態

「何れも市内上流に一般の総上の 中後六時頃より開放されて居りの で、いつかエロ・ハンターの で、いつかエロ・ハンターの で、いつかエロ・ハンターの 女子百名、男子百五十名の會員 として一般會員を募り現在ではとして一般會員を募り現在ではとして一般會員を募り現在では

片山重雄(四平街)小松文之丞市川大助(以上公主領)

島建正治、稻葉金吾(以

中の種を巷に氾濫させるに至った の舞歌と化し、窓に

五段・ 管原悉三郎(大連)

遺留品が 自動車ギヤング捜査 の手懸り

配を補自動車ギャング事代は其後の作物が河口署の配質繁盛にも加られてが入の行方は否として戦明せずずな人の行方は否として戦明せず 事件は紫色人りを思は を何よりの手懸りとして符望して 教育資金に

選び朝鮮で電影教育を施すといふ 氏の案では右茎金の利子を以て無 年充満同胞子弟の優秀なるものを 金嵬筆氏は今回在満同胞教育基金 十萬圓を寄附 金中樞院參議

八連州鹽州事課分室に参集今後

ンンヨの月美人印

にある

洋行魚舖

大低質問、金子同支制長及び田寸は十二日午前九時級あじあで石村 中であつた東日社 橋戸頑鉞氏赴京 名物にうまいものあり林 洋行の羊羹



ショーや

風の南雲時一晴

ブナ

四六〇二六三時 東京浅草 大光作品

辻利大連支店



商船熱河丸: 七日大連へ

双

界

0

高標準

事質はないだらうと信じます 劍道昇段發表

編纂連動 6級道部では過 般大連 華天融道場に於て昭和九年度の春 華天融道場に於て昭和九年度の春 ・ 一四日附を以て左の如く昇後の破 ・ 一四日附を以て左の如く射後の破 ・ 一四日附を以て左の如く射をいるが ・ 一四日附を以て左の如く射後の破 ・ 一四日附を以て左の如く射後の破 ・ 一四日附を以て左の如く射後の破 ・ 一四日附を以て左の如く射後の破 ・ 一四日附を以て左の如く射後の破 ・ 一回日間をいて明れて近 ・ 一回日間に ・ 一回日に ・

高等受驗講習會

カメラ無料修繕「鶏」用

謝恩サ ービス

舊型剃刀器にも完全に嵌ります



高標準たる名に背かずー

店理代溯滿金社會刀剃全安トツレチ

ていや。それどころぢやねえ」と呼いた。

水谷の新作 「若き母時子」

西洞院の白い大路を透

おッつけ來る時分だ…

新典型では、 ・ 大き、 は、、 ・ 大き、 ・ 、 ・ 、 ・ 大き、 ・ 、 ・ 、 ・

四郎は部下たちへ、

とうの天城の野武士木陂四郎にち 京の人々が魔の如く恐れてあると 京の人々が魔の如く恐れてあると

××版響音作特興新×× ×× 年三十治明 × ×××映上週次館樂映××

開出洋行

には特に現代製の某大スター

**のけじめなく、富たい旅歌にこの世の物を懲の煙の中に養つて短いで、ケチなまく出生してしまぶのだ。ケチなまく出生してしまぶのだ。ケチなま

るとゲ

成代は川口が

四郎は、いひ渡して、

稻垣「千兩礫」

病

分二回一

大絕力効

低最價藥

頭のおそろしく背の短い男が出てすると、群のあひだから河り童

と、四郎の職を見上げて立つた

幸役

新興キネマ高橋東京膨影所長の無 ・ 監察所識家の第一人者伊慶孝氏は 新興キネマ高橋東京膨影所長の無 ・ 監察上を本格成ジネ・オベレッタ を終打つて製作することになった ・ 監察手であった松平晃と鞭家少女新 ・ 事等版となるべく、映画界は勿。 ・ 電響版となるべく、映画界は勿。 ・ 電響版となるべく、映画界は勿。 ・ 電響版となるべく、映画界は勿。 ・ で吸と随り の家華版となるべく、映画界は勿。

整師の不便の地においての方は 実験の まむし酒 大連市信濃町帝國館前 大連市信濃町帝國館前 大連市信濃町帝國館前 大連市信濃町帝國館前 大連市信濃町帝國館前

本

音樂映畵を監督

伊庭孝氏が

スキカサウ

(可認物便郵種三第)

(180)

ママレード

ラハタ

花治

っつた坊主の牛車を止めて、六波のを待つてゐたんですが、そのう の後にかくれて、繋分の見えるなるに、たつた今辺、そこの前 木の際へでも引込んであろ。 「後で輝ませてやる、俺が今、火 事場に近い巷から見つけて來た拾 り物だ。今夜、こんな揺び物があ のうたあ思はなかつた」

大金になる女だ。しかも今夜のは、窓の港へもつてゆけば、 からには又、きりやうの美い女で「はゝあ、親分が見つけたといふ

詩にある美人そのまるの上弦だ。 す

演するが、そり目を記して開演する「すー」

奴を西へ行けと、遠廻りをさ

スの字がついて

カの字がついて・・・・

袋玉 うあるに店子菜のこど

白龍酒造物

おいしいものナー

沿線巡演日程 (ع



脫 毛

ん 本

5 超酒白龍正宗

滿洲日報廣告部 切 毛 腹痛タミン 電(二)四四九 参天堂株式會社 **5**

食あたりには ▼大谷蔵學博子削製 で治せ

内田

野夢

島耕

主演

小市

勇代

優風爽やたるなかな

ジャム

たら、前後左右から載へかくつて、一部の行くまゝに親どられないやう。

れずに、定の堤までかついで行く中の者を引つさらひ、何も目をく

ない映樂の英 断見の御禮 金三美

封士切日

Arb

三回

演主子澄木鈴 美妖

の惡が粂おりがらく賊女の化開

特發演助郎三永內坂・子良川德 史哀治明艷優るめ醒目に愛性母 郎太松口川 三民 田石

自銀の大自然を背景 明女が織出す愛慾圖 を記事と都會の

買

2

て 安

心

影相坂操一 前の本格的では

投ぐノウサルーオ

春隨一の流行歌

日活館上映中 2156

惠 東 海 林 太 郎 東海林太郎

全國・人氣・待望の

ルチポリド

マクニンジ 番 * *

蛔蟲病には 7 EADS Columbia 然俄 評 好

行歌

最寄蓄音器店にて御買求め下さい

ジャズ

流行歌

な山の

朗かなリズムに乗つて唄へだ! 春だ! だ!

好きだけれどcikikib 踊 n

さくら日本山へいため 口笛が吹けるかい (二八二九〇) 中音 野丸、 忠

能率 賣 NORITS 0 て 安 心

古 名 屋

所作製輸 本岡武株

明明所寺に於て告別式相響中の大連市春日町二九で京屋が表人大加林本へ八重を表して、大連市春日町二九で京屋が表人大加藤伊・サト電気である。



●晴

見 切

日本化學漆器宣傳賣出 兩兼 ンコー 用 傘 ト賣出 賣 賣出

・三越レ

郎六田告士博学医 長院 **管行洋摩志)ニニ町挟若希達大** 単三・ハハ・二電

7

岡本の自轉車

*************** 三階

来た、しかるに濃洲國際は既定方 を繋く必要ありとし十二日産工省を 社長は合熊火保設立後の内地各社 との際定くの他につき繁原の意味 との際定くの他につき繁原の意味 との際定くの他につき繁原の意味 との際定くの他につき繁原の意味 との際でも残れし、東京火災南側 との際でも一、東京火災南側 とのの地名社

て計讃されるのではないかとみ

關東軍經理部座談會

品(十二品) 類(十品) 類(十品)

1007

類

すのとをする時年間期

つた人 の内に人 大の大

の理由から合作を婉曲に控診してのところ感素として成立しないと 間に のところ感素として成立しないと 間に 東京将電十二日経 火災保険管 に 東京将電十二日経 火災保険管 に

公路•/

に石井保阪からを訪ひ

古

次の如

(單位

品の輸出採算とれずかくてが現地原料品相場の騰貴に

入を促し従来と逆の現象を辿りつの現象を辿りつ

北別輸出高を示せば

滿洲輸入織物

奉天土建請貧業者間に

至の情勢となるに至った

保證組合を創設

正隆銀行に資金特約を交渉中

小越株式店

日本商議更に陳情せん

朝清釜木群仁鎭臺高基日小图 鮮 南應 本 計津山浦山川浦計雄隆計構館

内譯左の通り

一千三百餘圓の増加を示してゐる 地し数量で一萬八千餘貫、金銀で

東京十二日級國通 石油製造園 不 東京保等部にマルコム(ライジン 東京保等部にマルコム(ライジン 東京保等部にマルコム(ライジン 東京保等部にマルコム(ライジン 東京保等部にマルコム(ライジン 大るべき域は六ケ月の保有業務に たるべき域は六ケ月の保有業務に たるべき域は六ケ月の保有業務に たるべき域は六ケ月の保有業務に たるべき域は六ケ月の保有業務に たるべき域は六ケ月の保有業務に たるべき域は六ケ月の保有業務に たるできばな六ケ月の保有業務に たるできばな六ケ月の保有業務に たるできばな六ケ月の保有業務に たるできばな六ケ月の保有業務に たるできばな六ケ月の保有業務に たるできばな六ケ月の保有業務に たるできばな六ケ月の保有業務に たるできばな六ケ月の保有業務に たるできばな六ケ月の保有業務に たるできない。

玉蜀黍の輸出國の地位にあつ ける豐作と割安による競爭品工蜀黍等の南米、南阿方面に 奉天三月の 魚菜取扱高

 東京特電十二日孁別日本商課で
 大殿交書を以つて決議したが青現
 大殿交書を以つて決議したが青現 鈔票波瀾を呈す

海外銀塊は連騰したが 支那の對策を懸念し警戒

大連の卸賣物價

費を概込み中間勝丈けに配総する で、激洲線向け一千四十回の物 百回、激洲線向け一千四十回の物 が、動きを開発を出続が が、対象のは、これによって配

三月は平均六厘低落 三月業績好調新京金融組合

才朱 漢洲 取引所供置

大

商品取引所總

電影響では手機りに掛かれるため資金の 野は手機りに掛かれるため資金の 野は手機りに掛かれるため資金の 野は手機りに掛かれるため資金の 野は手機りに掛かれるため資金の 時株主總會を所催し左の一大連株式の品取引所では四大連株式の品取引所では四大連株式の品取引所では四大連株式の品取引所では四大連株式の品取引所では四大連株式の品取引所では四大連株主総合を開発したのでは、

南支筋買に

況(十三日)

滿洲土建協會

一一棚

一時ヨリ

公十三月日

1000 学期には液南の液面河脈酸工事並 動物の重数影響に飛ば、昨年下 事態後の重数影響に飛ば、昨年下 事を後の重数影響に飛ば、昨年下 以上の如くであるが四月上旬、昭 新規貸出高、六一七、五七九圓 月末現在高、六九四、八二九圓 月末現在高、六九四、八二九圓

舊軍閥とは離れ

邦商には押され

類色濃き奉天外商

整後は製織術裁職を際へられてる 整後は製織術裁職を解へられてる 中側合 無の株式輸出で事更に帰國限制のは式輸出で事

横における土木

維貨類)哈爾濱に本店を有し最近 の監察状態は日本品の配管の軽近 がすべ最であつたが、商品質格 であったが、商品質格 徳週洋行 (毛布、田度緞子類、新京に本店を印度緞子類、新京に本店を解人子供版画選所を附続以來時別監督を修務の定僚により人同三千元餘の翼上がある

大豆柳物 | 四八七〇

海外高に躍騰し

綿糸も昻騰

0

木久 ス發聲装置 特別大興行 度

合國大松商

仕向地別についてみれ

日満火災設立に 内地當業者は再考し

滿洲國側ご具體的折衝

献、豆油、豆粕 類別、綿糸、綿布 類別、綿糸、綿布 りン、綿糸、綿布 は、たメント 引平板、洋 高價 に申受ける 高價 に申受ける 一門 八 なほ類別に依る騰落は次の如くで 精、石炭酸、苛性質達、半紙、松、白松)銅塊、銑鎌、木材、紅松、白松)銅塊、銑鎌、疊表、松、白松)銅塊、銑鎌、疊表、松、白松)銅塊、銑鎌、疊表、松、白松)銅塊、洗鎌、疊表、松、白松)銅塊、大網子、板硝子、木材(紅

末現在高 四〇七、二三九國 奥 三二七、五三八國 一三四口、減少二一口四數 三、六四七口

高粱昻騰

三二先

を全なる株式投資法 一条町二五番地の金が出土にて領申観を乗る内書無料会量 店店 店店 に 屋 商店

印刷服 満日並印刷 大連 商 宅町 二 電融 ② 番 ビー 要込まれたがこれは全く根據のなど契機として反應に轉換せん。 である人民経へ恐らく一割二分のでなる見経へ恐らく一割二分のである人民経へ恐らく一割二分のであり電網な常識が関係であり電網な常識ができる。 後月二回・一日・十五日銀行) 右御申越夾第送呈いたします 右御申越夾第送呈いたします

市場電

石油業法會商

一先づ打

大戦も六ヶ月の保有豪物には結局で、英元戦を決定することとなった、英語に勝つて今後の転日信神政策の間に勝つて今後の転日信神政策の間に勝つて今後の転日信神政策の間に勝つて今後の転日信神政策の間に勝つて意味に勝じて考慮すると

交科品(九品) 接收後廣軌線沿線の 物資は案外豐富 **丸、** X 101 X

(四)

産地高で原料は輸入

割强減少

上半期の

混合飼料

哈爾濱鐵路局配給方針を變 和九年度観利益金は一萬和九年度決算を行ひたる

大阪期米

表記條例 支那の原産

| 上海特徴十二日襲| さきの反戦により電腦を無期がの反戦により電腦を無期がの反戦により電腦を無期がの反戦により電腦を無期がの反戦により電腦を無期が 店員訓練週間 三一十十七五現 月月月月月日初東福回回回神戸日

課職小學校において原鑑さ 電子後七時から九時十分 を日午後七時から九時十分 では来る二十二日から一週間 は来る二十二日から一週間 は来る二十二日から一週間 講師科目

◇…小川市長とコ

◆…高田大連商議 ・高田大連商議 をもつて経意を をもつて経意を

▲訓育

状況で廣軌線沿線の物資

で大連市の観役として活躍、いろくへの意味でいはゆる大連イクではでいばゆる大連イラーのでは役者であり。 デオロギーの花院役者であり。 デオロギーの花院役者であり。 では、 一番音も 演洲鬼類と 取器インフレの高渡に 乗つてトン (一番)

そろく 身體の方がいふことを きかなくなる。 人間に生れて顧 歌、壽衆れ願へることは仰々む づかしいと見える。 名響も盛んになると

大豆 五七五一車 △四三車高粱 一二二一車 九車豆粕一大三二千枚 九千枚豆粕一七〇〇百稻△二五百箱 豆粕 生 產 高

大阪棉花 教育 大郎 衛行 大郎 衛行 大郎

上海爲替情

政府より滙譽銀行を通じて英國に【上海特電十二日發】昨年末南京

約世名に

用するこ

ある

御興味

市教育局では市立歌校代表の女子市教育局では市立歌校式されるが、東京

中等學校學生干二百名、男子中等

古書には特に

する人々に御倉糧を 勝はる 由でては徐行ブラットホームに奉迎送。

した

學生青年團

の奉送

英系銀行借欵團組織

氏は本國政

ル外根の鉱職監督書の一十一日義國通】十一

幸设

波三國を加

更に六

會談

日本切手脏附の郵便物に對し殆どが完全に解決されたにもがらず最か完全に解決されたにもがらず最か完全に解決されたにもがらず最かが完全に解決されたにもがらず最かが完全に解決されたにもがらず最かが完全に解決されたにもがらず最かが表

一律に不定総が徴吹され、一般に大力で便を感ぜしめてゐる、協いつた日本切手貼附の郵便等に對いては不足総を取られないでは不足総を取られない。

寛を指摘して再三注意を喚起したの意識が那後にあるから疑はれ、

が一向戦正の模様がない

機 で明年末完成される。 で明年末完成される。 で明年末完成される。 で明年末完成される。 で明年末完成される。 で明年末完成される。 で明年末完成される。 で明年末完成される。

の意圖が那る

英對支借欵具體案

に新な不合法

る総製は郷でドイツ政府を離島させ張し彼らに強硬態度を押し進め

マス代表の強能主張に對し、マップス代表の支持を要認した、右フラーでは一般では、 カララ では、 カララ では、 カララーでは、 カララーでは、 カラーでは、 カーでは、 カーで

との事質を基機

をいはれる、ムッツリーニ首相 たといはれる、ムッツリーニ首相 たといはれる、ムッツリーニ首相 たといはれる、ムッツリーニ首相 たといはれる、ムッツリーニ首相 があがヴェルサイエ條約の一方的

滿鐵附屬地發郵便

文那、不足稅を徴

條約擁護

の決議案採決

ところ大なりと見られてゐる

略國に對する制裁條項及びロカルノ協約を强化せんとする佛ソの愚鳴と槵傍ち瞻州飛騨の窓中安釜陽上寄奥窓殿は難しい形式を染れるもので、ロカルノ臨紋脈取園紫佛伊嶽は五ヶ國に難し術東力を有し、この愚愛は 聯盟規約中の侵相互援助協約を結び、獨佛間に違反行爲ありたる時、これを適用せんとする穀を用意してゐると、右院【東京特電十二日發】バリの雌な脏よりの懦骸によると、蒸代数はストレーザ鬱鬱でロカルノ協約を擴充し空中

だ分消化され得る性質のものと信が含識を開いた場合に提出しても

ザ會議を開いた場合に提出してもソの三國を加へる第二次ストレー

歐洲の空中安全保障

英のストレーザ會議案

のせか泣者記

鷹たる有

と新聞記者がかせの音響はなかつと新聞記者がかせの音響はなかつとの音響はなかって回聴音響は

りに空味な既交字を素して能かに りに空味な既交字を素して能かに ◆…仕方なく歴史的大倉謙だと のか神らないといふ有機。

鵬の公式コムミユニケだといふの職の山、配も終日配店体敷摂手傍職の山、配も終日配店体敷摂手傍

一つたが、満洲視察も此問題への一般開起問題は何も話が出ずに終

見透しがつかねば何とも

審議會委員と

對政友工作

飽まても参加を慫慂

員も何人が見ても百肯し得

て 一流 の人物を継続す ける方針である 大が見ても首背し得る 大が見ても首背し得る 大が見ても首背し得る 政友との正面衝突を出來るだけ避 がある。 の人物を継続す ける方針である

を爲して 完全な諒解に到達することは最 早疑ひない

受諾を以て愈々數日中に委員の鑑

で、高温度相の副倉長就住の一流の人物を網権す

長老閣僚會議

審議會構成協議

正的である、然るに政友會は

政府當局に考へさせるためでは、政府が再軍備に反對しないと獨 日米貿易關係 英、伊、佛三國政府は共日を語り又フランダン首相はなかつた 調整

齋藤大使、米當局と協議 諸國間における貿易調整 。一、日米剛國及びラテンア、 を就きハル長官の意向を打診した 日米南國地にラテンアメリカ間に

金を見て夫々交渉の意識だが、鈴を見て夫々交渉の意識だが、鈴 に撃月、山本(祭)兩氏其他一、

十二日の閣議

はを個所に御路滅の手綱を執るべ きか否か等、内閣裁議會並に内閣 ではなっての全般的の問題に

英、佛首相談

が日本が常に入超となって 一震療大使は日米 南國間の質 貿易では 質認およ

電において脱田外様、高橋繁相、 でに動支鵬祭等につき種を報告するところあつた、殊に関田外様、高橋繁相、 でに動支鵬祭等につき種を報告するところあつた、殊に関田外様、高橋繁相、

は歐洲の諸情勢をいかに観察す

政府連帶協調の實を我々は實證 一、日本商品の中米南米販路開拓 | 入趣となつてゐる事や日回の會談で、英、佛、伊三國 | 調査 | 一、日米兩國間における片質易の | 米國が入超となり、一下メリカ職ではラテードホテルに引揚げ打ち覧いだマク | 選りてまる

依然通郵協定を無視

禰洲視察は

未決定 林陸相語る

電車多議官など適當だらう、具 東京十二日發國通 本日閣議後 内閣審議會の内輪の話は大分進 人でゐるやうだが表面では何等 の話も出てゐない、陸軍より委 員を出せといはれ」は出すが、

の影域に反動する智無しとの趣的の影域に反動する智無は一先づあるが、最悪の場合には一先づあるが、最悪の場合には一先づ 政友會側候補者の椅子をえる。最悪の場合には一先づ

下二十九名は潜郷官たる田中職兵 下二十九名は潜郷官たる田中職兵 や佐等と共に四月十二日來配、職 戦別撃の後備行礼に於て田中襲塞 心仓官以下各将授と鬱質を共にし 一部会官以下各将授と鬱質を共にし 一部会官以下各将授と鬱質を共にし 一部会官以下各将授と鬱質を共にし 一部会官以下各将授と鬱質を共にし 一部会官以下各将授と鬱質を共にし 器につき懇切なる説明を受け歸連

會議には八ケ所の熊事處の外、特 での「一般」を表している。 では、この「一般」を表している。 では、この「一般」を表している。 では、この「一般」を表している。 では、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、また。 では、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、また。 では、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、この「一般」が、、特別では、この「一般」が、、特別では、この「一般」が、特別では、この「一般」が、また。 では、この「一般」が、この 王任會議 について詳細なる説明をなか、また今後の通商關係の前 交部辦事處



に駐日公使館衰變事官等参加し、管護には八ヶ所の辦事處の外、

席、旅労査證その他通商関係事交部順からは科長以上の首略者 王中將一行

(新京電話) 大村廳東局監理部長のため來る十七日帳中川道・響部長のため來る十七日帳中川道・響部長 大村監理部長 廣軌線を視察

重つて全線を視察し主要各縣にお 較部も同行する筈である

訪を機會に兩國の經濟提携を促進

各總裁、兒玉正会

下の陸海軍の巨

編成は十

詞様その他の藏本を御敷あり、古監り赤城離監が衣臘において宮内監り赤城離監が衣臘において宮内に十二日午後二時より紋一時職に

を変形上げること」なった を変形上げること」なった

のには御興味を以て非常に御園だが本には特に御目を注がせられ、 神本には特に御目を注がせられ、

隨員慰勞會

ふ午後離宮にて

土方日銀、加藤鮮銀、結城興銀る御思召を以て十三日午後雕宮

屋を召され特に認を聴はる害

御退京奉送次第

十五日朝京都へ御發

大学 は 本の は 本の は 本の は 本の 十五日午前九時半 総 は 本京都に な京都に とれるが、 當日皇帝と下に とれるが、 當日皇帝と下に とれるが、 當日皇帝といるが、 當日皇帝といるが、 當日皇帝といるが、 當日皇帝といるが、 當日皇帝といるが、 當日皇帝といるが、 當日皇帝といるが、 第一日皇帝といるが、 第一日皇帝・日皇帝といるが、 第一日皇帝といるが、 第一日皇帝といるが、 第一日皇帝といるが、 第一日皇帝といるが、 第一日皇帝といるが、 第一日皇帝といるのは、 第一日皇帝とのは、 第二日皇帝とのは、 第二日皇帝とのは、 第二日帝とのは、 第二日皇帝とのは、 第二日皇帝とのは、 第二日皇帝とのは、 第二日皇帝とのは、 第二日帝・『日皇帝とのは、 第二日帝に、 第二日皇帝とのは、 第日皇帝とのは、 第日皇帝とのは、 第二日皇帝とのは、 第二日皇帝とのは、 第日皇帝とのは、 第日皇皇帝とのは、 第日皇皇帝とのは、 第日皇皇帝とのは、 第日皇皇帝とのは、 第日皇帝とのは、 第日皇皇帝とのは、 第日皇帝とのは、 第日皇帝とのは、 第日皇皇帝とのは、 第日皇帝とのは、 第日皇皇帝との

ード吹込みを総つて数大田は揺ぼし ムビアレコード吹込所に起きレコード吹込所に起きレコ

沈宫相外相訪

[東京十二日義國通] 袁倚書府大臣、张宫內府大臣、张宫內府大臣、张宫內府大臣、张守從武官長

岡本文郎氏(蘇家中廳長)十二日午後四時 五十分 裁列 単にて 社任 本学紹庚氏(元北鐵管辦)十二日 午後六時三十分あじあで來連 午後六時三十分あじあで來連 一後六時三十分あじあで來連 一後六時三十分あじあで來連 一次氏(安東領事)間上 金井鴻治氏(奉天署長)同上 金市場治氏(奉天署長)同上 一方九志都慶氏(瀬洲國传後武官) 同上ヤマトホテル投宿 一位の元平氏(熱河事實署長)同 上波東ホテル投宿

お待兼ね

0

第五卷(%)出

袁、沈、張三氏

各方面を訪問

午前九時より ※洲倶楽部の留撃出 の配の紅葉館で行はれる、 倫同日 の下に十三日午後六時半より

晩餐會が廣田、林、大角三大臣主

第五卷•特價五圓 (定 順質)

を表なことだ、が、それを で易なことだ、が、それを で易なことだ、が、それを をあなことだ、が、それを 本辞典を評して、つい今、私は、厖大であると共に使用に便利、豪華版であると共に使用に関る廉價だといつた。多分、本書の優越性は、ほど此四ケ條で厳ひ得 を豊富にしたり、紙敷や卷 歩をした現在だから、語彙 **搾して、所謂エッセンス** なくては敢行する能はざる底の出版物で奉公心の熱烈な坂本君のやうな理想家で

整然とした統一が得られたのは、多分宮 編輯の任に當つた楠山正雄君の彫心鑢骨 の經營と君を助けた編輯員諸氏の忠實な 協力の結實であつたのだらう。ついでに 言ふが、君と私との關係も相應に舊い。 君の本來は文學者であり、藝術家であ る。………學殖は內外古今に亙り、殊に、 身者中風指の人なのだのな點で 早大文科出

本書ほど簡約的に又緊窄的本書ほど簡約的に又緊窄的 心からいつて恰好なところでも限りといふのは、使用の手も體であるともいへる。十二

四和九年五月、「國民百科大辭明和九年五月、「國民百科大辭中之國新聞紙上に掲載され 中之七イションを 捲き起す。 中でにおよぶ未曾有の推薦文。 中での一部を再錄す。

第一回配本開始

毎に配本いたします 第一•二•三•四 博士の推薦が へも既に聞えてゐる有

置草の本殿たる大成殿に

であ一正賦の歌

最上帝性下御親珠の有

府三百年間に亘り、交教の中心川縄吉将軍の建立にからり徳川

を以て上事中のところ、この二月 を以て験工したのであるが、畏き 別代よりが年間中に御秘載の台世別代よりが年間中に御秘載の台世別代よりが年間中に御秘載の台世別代よりが年間があるが、畏き

発度の影立にからの歌川

處が問題はこの方針如何にあ

美を側聞するに、

庶大間の高

聖礼士の無が算典の組み 整へてゐる、今や異境の

三月中の

歌まとめて護々發送中であるが、 出品者は一流商店十八店で蓄電機 セルロイド製品電子製品文所具製 である

人滿苦力

横道河子辦事

…に手御のたなど

大学 全郷 特製書庫 宇備宛四千 個文章等 機能時計店 戦後 宇備宛 宮子六百個

りあに店具女の概全 …に中ぬれ切賽 (等特)

大東公司の不良分子使入防止の紙支加監監の防患手段と、資州國際

松田文相監修し、職保修民意川家運公が終始個年間、聖管師の選ぶが終始個年度にて、職会の関係がある。

り

蘭上代金の一分五厘を三分に

題であるが、

の大阪商品は大阪満蒙喩出組合で製造在長協會主催の見本市に出品

なったのを機會に従来の歩

九の三日間奉天で開催されるを

!! る迫れ切賣

此の大景品

(等多)

キ貮オンス入

・一般御買上毎に

ンキ百年祭祝賀

見本市出品

港市族順の重要味は、

に必要な施設並びに準備を進め「高風を計上して治外法権徴経済刑國側では本年度豫算にも七一一

一、 帝國政府は課稅糖(附屬地外 を終 を先にして附屬地に及ぼす)の 一、左 を先にして附屬地に及ぼす)の 一、左

囘收不成績に鑑み

公會堂設置問題

受くるものなりといふにも関するでで映されたもので、

第二の養育院問題も十年

三月下旬の

北滿在貨

州

前年より増加

委員會を設け具體的調査

社會事業委員懇談會

海洲國治外法療施療第二回委員會 は十二日正午より外務省にて所機

でをり、課税権(管業税)移譲 は成るだけ明年度より資施し原 は成るだけ明年度より資施し原 でう進行したき希望を持つ

裁判所、刑務所の官吏、裁判官に漸進的に撤廃するに漸進的に撤廃する

引編を受けた機局では斯る矛盾し が速かに護現せんと各属係者が協 が速かに護現せんと各属係者が協 がまた終本に厚く震力ある者 は披掘し一方表情者に厚く震力ある者

的決定をなすことゝなった

帝医下御輔環後直に顧取されば既に日瀬双方の意見一

市場問題

この歴史的事件を記念するためる事となった、交通部において

工木課文公土木調出張所(大天約事項閱覽場所 常驅內務

心気切手を發行する事と、一銭五厘、二銭、大銭、

原任官 棚東州総會計課で任官 棚東州総會計課では、一年の一十年間東上が、一十十年間東上十十年間東上十十年間東上十十年間東北十年間東北十十年間東北十十年間東北十十年間東北十十年間東北十十年間東州北京

昭和

代田生

委員

條件とするので速かにその準備を必須

治廢委員會の意見

法權撤廢

◆先日「ベンガルの標齢矢」が良いといふので時間を都合して日活館に出かけた、良い離を得て悪んで居ると、隣に坐つて居た

見てはその周到さに驚い

たナイフを用意し

であるばか

運輸の四千

丁寧にデザート送完全にいはせてゐたが、何して

人として恥しい行ひはお気に自等においては一層のこと、日本

郵便條約

近~調印

工事請負入札公告

東州廳

人地人

画 契約ノ翌日ヨリ百

10日午前十一時四日午前十一時一時

記念切手發行

(麓敷生)

南京団あり、煎餅から大福餅に諸君の多い事である。甘栗あり

至る这件々多い。

《東京特電十二日發》

特殊のものは繼續

てあるが、中央銀行ではその後の成績調査 の結果を改改部、散製部、中銀の四機能は対するが、中央銀行ではその後の

収の中郷経際既の破解による返金 ・中回収を見たのは八百五十萬圓

敵な敗變に依つて破壊さ

でになるものもある、それがため 中観ではこれ等の数を考慮して龍の 中観ではこれ等の数を考慮して龍の をは感覚が見地から発満を続する。

日 るにせよ、三十年間の時日に れた市民の利害と慣習とは

日滿蘇協定委員 北鐵讓渡協定による

『東京十二日韓國通』北郷護後端 定に件ふ日、満、蘇三國共同協定 を設は十二日左の如く決定した ▲ 日本側 通商局長 來植三郎 本 満洲國側 唯日財務官伊藤弘 本 養職側 があるだけに、概能では微重が終っては、現在六萬に楽しその絵異問題についてはその間デリケートな職物に

廣軌線滿人の 給與合理化

は昨年末南葡電氣を主艦として結ぶ公布電腦を見る部であるが、右にを得たので、近く動給を以てこれに対公司を以てこれに対公司を表表して活が公布電腦を見る部であるが、右に

安東省縣廢

で背に触らぬ優雅な黒原 物は観音観筋コンクリト

國家統制愈よ徹底

小大

△

く公布

唯一會社たる満洲電影

三年年賦(陰遠と既正した 一等書記官 ロイツテマン

皇帝けふ御参拜の

の。孔子聖堂

徳川時代文教の

た運命またこの例に洩れ

春耕資金貨附廢止

『和京電話』駅村野熊のため演洲 受金は大同二年度一千五百五十七 では大同二年度一千二百六十五年 のでは大同二年度一千二百六十五年 では大同二年度一千二百六十五年

で、従つて今後後来の成績に見て 一般にとなったものである、この政 人代費等要大な經費を要するのでなくは現在以上に既化するものでなく ある、右につき中級総木駐理 悪民なつて 凶作地帯 はその場合々々

一般の成績はよいが奉天省殊には全部返済した、からした所には全部返済した、からした所には全部返済した。からした所には今後債的けてもよいと思つてゐる、大體縣長、参事官のよい所は返済成績はよいが奉天省殊に

滿洲電氣事業令

田 に固定せず、別く内外の意見を容 れて完璧を期することになった 既に市會においても公會堂設立 ・ 一六回市會でこれが否決にあった

展遊戯會無長をはじめ、上脚、志一般を除り土地遊走も急くべしと希所に此會事業委員無統會を開催、 ・会覧時心無意を設け真然、会覧時心無意を設け真然、 ・会覧時心無意を設け真然。 ・会覧時心無意を設け真然 が極めて形式的に傾いて2 に動み、更に一層影響に重 一般を研究することろしてだ

られるので、この転布管理 就在我なりしこと、市會

一般に発ど認められず、大概談響においては右の如う に選ったのは十年度新



南各鎌道沿線主要爬穀物在資は四

八九一六郎の第二次 大九一六郎の第二次 小饗は八七、五七二郎、前年 年同期に比

京• 拉• 演• 大演•

干代田生命

利昭和九年

一千一百餘萬圓

十二億五千萬圓

南洲の宗教を語る古満州の宗教を語る古書を表示が、 一次経済提携の検討し 特權 輯撤 六一一路大安興京新 行發會學政行洲滿

廢治問外

題法

集募員務外

朝鮮銀行奉天支店

二六九一八三〇棉

命保險相互會

(明綠江製材無限公司) (明綠江製材無限公司) (明綠江製材無限公司) (中原祥光)

(滿鐵本線遼陽以北及安奉縣)

其他保險契約に關する一切の業務補期、死亡保險金の御支拂保險料の御拂込住命保險の御契約

後援願上候間御利用御の業務を取扱申候間御利用御

田生命

(=)

旅順今後の

適地を求めねばならぬが、この帶として、大衆生活に養すべき

北びに中橋的関際都市の補助地

満洲沿岸の何處にもその比

因るとして

開東州の全般的設

◇何時辺絶つても止めやうとしないで他人事ながら腱が立つのはいで他人事ながら腱が立つのは

を買つてチュウ (となる中に電影がついた、の

通りからりの

無いのであ

部土木課出張所(大連) 月二十三日午前十一時 開札/日時及場所 昭

契約ノ翌日ヨリ百

ったが、次の映画が始

暗闇の晩餐

相

产以行十五

に從ひ、教育機関や或種の像

選に當るものゝ白眉が底順にあ

大衆的にはなほ完全と稱し難

社

說

繁榮問題

奶油三十七八年戰役以後、

小内最高官府の所在地

の急激な酸塵に因って緊

ー年度迄には

常市は、時代の變遷殊に

の頃は同分館の倉庫内にその佗び、小村侯の郷里日向の大武に侯の趣館に保管戦換となつて散島鐵道事、総在中の最繁家兄芸在象氏が先胺館に保管戦換となつて散島鐵道事、総在中の最繁家兄芸在象氏が先胺館に保管戦換となつて散島鐵道事、総在中の最繁家兄芸在象氏が先胺

小村侯の郷里日间の大武に侯の樫に敗めて縁つたが、宗玉氏は前年に敗めて縁つたが、宗玉氏は前年

小村壽太郎侯が乘廻した馬車

延吉分館の倉庫に

【響口】管口朝鮮人墓地は附屬地 鮮人墓地擴張

赤系の匪賊

「お前の答案は此處にあるではないか。これ以上、口答試験の必要はないか」

二十番の競好古が目通りに來ると引見の日、心から改進を賞揚した 「撃撃に聴念し雛撃に耽るな」 翌日學道は概で出發した。

と懇願した、層學道は顔を和げ

込んだ。やがて全部の答案も出揃 すたのでそれを纏めて場を去つた 成離が避変されると案の定、変態 は一番であつた。間懸道は及第者。

學道の觀容は既に一髪し威嚴を

各種の標本を蒐め

大博物館を

つくる

奉天教育廳教育研究所が

熱河南滿から化石も採取

の變遷寂

(三)

冬へ逆戻り

継受を加へて四千キロから一緒では、北្安文の回線は新

圖寧線ダイヤ 再び改正さる

住むのにひと苦勞

尨大、舊北鐵の宿舍

経由奥地方面に向ふ貨客の個們特電十二日發了最

しても非常に便利となる鑑である。
本より牡飛ば方蔵に向ふ旅客に転
をは監性後四時三十五分緩卵車に

【春天】西陽門外の奉天市賞民收一 心原工廠の設備擴充

北鐵接收記念に

盛大な娘々祭り

六名は稲刈機連搬のためトラックエヴィッチへの以下自系露人店員

前記匪賊は赤系と連絡ある者とみれに歸來と共に領事館へ屆出たが

舊四月十八日前後の五日間

南北滿一齊に擧行

の前橋

受験生は答案を差し出すと床に 「大先生、どうで口答試験をお試

そこへ一受験生が答案を持ち來一つたのだし

鐵路局が擴充

奥地の産業を開發

一年本大々的に行ふべく興備を進 会運転し残成機を撃げたのに臨み を運転し残成機を撃げたのに臨み を運転し残成機を撃げたのに臨み を運転し残成機を撃げたのに臨み

月一日午前九時十分奉天器を出襲めてゐるが、その第一回は來る五 ナチハル、北安、 辰清、 哈大孤山、鄭家屯、四平街、

總局の慰安列車 五月一日に奉天出發

等を経て京圖線五常において終り

緑化さ

の苗木もつく 海拉爾を美化する フを養植

・
いったことでせ
う。要するに
は頭から
軟腰を加へず、彼等
は頭から
軟腰を加へず、彼等

世界 ではないかと思います

るのか、成る程

まつた、下流方面も三姓、たが約一時間にして停止したが約一時間にして停止し 結氷期中の減水が甚だし

三姓淺瀬は三呎足らずであるから いので旅客船の通行はやく遅れる

ない。彼の苦心とそばれむべきも う。まだ一脈の光明がない識では うとせぬのか。も一度融んでみよ 学道は再び克明に讃み直した。 学道は再び克明に讃み直した。 んであるではないかし

に質にこの文章

と軟息した。 と軟息した。 では答案を傍らに戻づけ、再び が終ったが、まだ一人も答案を差 が終ったが、まだ一人も答案を差 「確はなが歌艦の答案を再び把ら反問した

「この文章は一體、何を書いてみ一一識したが、直ぐと失妻した。 一識したが、直ぐと失妻した。 進學せぬも道理 と監査されている
 と監査されている
 と監査される要素されている
 にもまして克明に讃んだ。讃み終
 にもまして克明に讃んだ。讃み終
 この様な文章は自分も一二憲素
 にっ三度書んでやつと天地間の至た。三度書んでやつと天地間の至たなるを聞つたは「一学一玉」と でえ」 三四人の電子が左右 三四人の電子が左右 り、受験生の肩を小突き蹌踉く彼 で文章にも構通してゐた。 ○受験生は魏好古と呼ぶ栗生 た後、直ぐとその答案を取上 た後、直ぐとその答案を取上

劉潔長 井上和記氏



見知らぬ人達から續々齎され

感激し徹夜の作業

從業員達

を終へて世の中に出るまで、

から使かに二年、自画自識なやないが好成機を挙げてゐます、制度 云へは懸見ですからなあ、まあこ れから小學校に上り、中學や大學

我々日本人は先づ検討り

野沼

後にもう一言、たとへ機像の

定、崇戦の美事。

本大城内風指のデバート同興元本べて商気で叩。

上海年中行事のキネマ女王選択 で今年は天一公司のスター陳王樹 さんが研究さんを歌激して共歌的 0

儒林外史 照#與 敬 梓 原#吳 敬 梓 を描き一番に推した。 を描き一番に推した。 學道は急いで朱重を執り、 、答案の頭に三重丸で朱筆を執り、全文

をとして道路を整理取像することに として道路を整理取像することに をいたが先づその第一歩 日から観光り軽油車が二回情報 どうぞ題をお出し下さい」

を文章にのみ用ひればよい。 にお数は受験生ではないか。只管 にながは受験生ではないか。只管 當今天子文章を重んず、足下何

た事で、その種類は多數に上る熱河及び南湖各地から殺見されば魚類、鳥類、植物等の化石が

用立つ。況んや、本意、留を奉じ、れどか、副だとか、声だとか、左標なものを

を眺かにせば、その歌歌まだ。一般と態歌を歌ずるためでは、一般と態歌を歌ずるためでは、一般と歌歌を歌するためでは

を り、 離の前に立つて、 流 しく 遊艦 した。 励歌遊は表成に殿す。 本官が足下 の でが 楽を見出したといふこともそ の でが 楽したからである。 撃人の で居るから……」 と、 要かい言葉を 奥へた。 破飲 と、暖かい言葉を奥へた。影出 進は直立したまく行列の殿の窓上げられ主人を乗せて去つた。

東京·級座資生堂

井洋品 野 田 購 買 買 商

會會店店店

田谷野 連百

之口

勢町藥局

夏川小間物店

滿鐵消費組合

闘東廳購買會

遞信局購買會 遼東 百貨店

一越百貨店 宜堂藥房

ノ呈進景粗くなれも

天 石 越自省党党

知屋 店

篠町丁町近江や商店

・・・・・中間期め爲の待優者用愛御 上買御圓一品粧化堂生資でに店賣販の記下

形通り フ薬

局局

本快心

松井小間物店 桔梗や小間物店 房

行行行

化粧品デー参加店 大連・市

四月末日まで

奉天煤油公司の

既存業者の在庫品一掃を待つ

するものと観られ深油公司開業後

全滿主要六都市の

小賣物價騰勢

穀類の騰貴目立

大連人絹業者の

をいては満洲國賃 復するものと眠られて居る

同業組合成立す

愈十五日から取引開始

副組合長

東京十二日毅國通」高艦数相話る

織物税率の低減

大阪織物輸出商から

在滿關係當局へ要請

買上價格を金

の帝國権人織物をある。

人組織物、絹、人絹交織物
管三圓四角五分と決定した
経慣 二割 表=産金覧上價格は一瓦につき図る
「大手製金覧上價格は一瓦につき図

後場市況(土)目

大連經由綿糸布

邦商買に

大豆强保合

鮮鐵運賃引上等で漸増

布の大連を經由するものが減増す迅速を要するものを除き今後継糸

變化はない

場を自分等の家とし勢

資金流出を防ぎ

幣制を確立する

中央銀行預金利子引上に對する

滿洲國財政部の見解

防ぐ必要あり幣制度に於ける或程度の動揺を



(四)

異體同心

接收後の哈爾濱工廠を見る下

Ħ

奉天の華北

株主を募集

一家 の柱石たり歌家の中の人が、往々にして「四十脈がり」と云つて、殿力が輝くなり、顔がまンヤリして野力勢力が減退し根がり」と云った。腕の臓節が縦んだり、背骨を心をして、腕の臓節が縦んだり、背骨を心臓の臓節が縦んだり、背骨を心臓がに能みを整えて活動が大幅になったり、筋の臓節が縦んだり、背骨を心臓がに能みを整えて活動が

九八次

10元10

| 景値 引値

實にこんな良いものはない 兵庫縣 松 崩 太

人生 は四十から…とよく かっかん かい 一世 から、 都い 戦の 密察が がい でからで き、 製顔 遮臓 に 賞を結び、 一世 一き、 製顔 遮臓 に 賞を結び、 一世 一

血行が悪くて血氣乏しくなる 息が切れ肩が凝り疲勞し易い 根氣薄くて居眠り欠伸が出る 頭がポンヤリ記憶力が衰へる 夜分安眠少なく小便近くなる 勢力減退し夫婦愛に倦怠する 食慾が減じて體力が衰ろへる

誰れ でも以上の姫き都巻 けて、御老を画家して、老い行く でも以上の姫き都巻 けて、御老を画家して人生の成 でも以上の姫き都巻 けて、御老を画家して、老い行く で、こんな良いものはないと戦いし、いるくに真真な呼ばをして含むし、いるくに真真な呼ばをして含む。一度試めして御覧なさい、成程と一度試めして御覧なさい、成程と を、いつも元素で身体の工合が連と、いつも元素で身体の工合が連ら良く、関が軽くヘッキリして内を良く、関が軽くヘッキリして内で れば損であるが の面白くて、根拠よく能率が進 近頃が戦の信州書で深山

かっている

腦力と體力を養ふに

釆を

八間初老の惱は四十から

老行く年齢と逆に

頭腦と肉體を

益々若くする工夫

こゑを たんを のどを せきを 於學院已好 に有

をなす成習を乾咳さを辣防治療せられ 和くは速は漫田館を用ひて萬海の先輩 雷て流行性吸言 行を極めついる でや湖門路中見 海田始が常に其の 第一線を乗る事は を極めし時の書 的効果によって 像防さ 治療

源管をカメル等すべて図のでも続き

世既にかり 感冒の

髓棉肉伊太郎

◆神経衰弱の人 ◆神経衰弱の人 ◆黄血冷込みの人 ◆疲勞倦 息の人

●虚弱體質の人 胃腸衰弱の人 呼吸器贏弱の人

●全國有名の藥店、 雕遊發賣元養命酒本舖天龍館 百貨店にあり

命

酒

信州伊那の谷名産 製御

聚法日米專賣特許

要,所養命酒本舗出張所

新東京六八八五五番

来るわけです。そこにあなたも

で聞いて居ります。母は私歌の総 なのですのに母から何等の命も頂で聞いて居ります。母は ます。然と経験後も金の襲りまし 異女で泉妹が三人居ります。父は ます。然と経験後も金の襲りまし 男女で泉妹が三人居ります。父は ます。然と経験後も金の襲りまし のでまた 一気変配に子供工人も含るのですか

八ど別れて

上

毎日々々不機嫌な夫さ

へ嫁げ

母親の間に板挟み

顧

の母と妹が内地から難ります。さ 埋があります。も 埋があります。さ 埋があります。さ 埋があります。さ 埋があります。さ 埋があります。 1人は毎日の の母と妹が内地から難ります。 2人は毎日の の母と妹が内地から難ります。 2人は毎日の

ば萬事四隣におさまるわけです んたちを見てやるやうになされ なたのお母さん、弟さん、妹さ

です。さて、徐に時期を待ちあにも愉快を異へるやう変むべき

いつまでもご酒で夜ふかしなどはです。日那さまもその歌を報へて

噂を解へきいた一友

ちまつたンだんなども

苦難を切拔けよ

責任はあなたにもあります

かうすれば萬事圓滿

した。解脱に行つて手腕でもしたの戦中に彩のやうなものが動れま

秋より在機揃の中央に大豆酘のも 『間』 本年四歳の男子、昨年

られてゐますが、

に送るために

最い心

|血壓/ごいふ言葉

ク矢ツ張り噂に違は

拇指に魚の目

らと思ひますが子供のことですか

質家の方に関すて天をしなけれい。山上山上あなたの弟、妹さんは

よく事情を訴へ適當な感覚を乞給姫のとき世話になったかたに ばなりません。お母さん並びに

ことつて起るもので、 受暴の震滅 それを平均する旨めに必要の流動

年はデヤーナリズムの

らの空景の

きがあり過ぎる。少し

風は何故起るのか

私としては今の主人から愛されて

問から外順へと動かすやう。なほ

手入

ラッシュの使用はを知

お髪の

どい所へ出たあと、必ず態を除き

第二課·美容

まお賦りのベルが鳴つたら習守者

の人は何はおいてもブラッシュを

豕

問庭

だを興へる人のをモットーとして 一般の手人れ。それには 一皮膚に休って

戦明でせら。(町田やす子さんのが引つよいてのお化粧は遊げるのが

くものですへ松下夏子さん談

人れを施して歌分でもそれ

外から歸ると手さきの汚れてゐる

ガーゼで脳を拭きとります。休養

反つて遊むけを懸ふやらに はれますが不思議にそれを

置くことです。一寸考へる

有り合はせのナイフなりピ

日

帳 服りの方がよくあり

に辿むけが出來てお 逆むけない…間先

す。それは爪の生え際の皮膚

满荷

たら、

お顔の手當て

洋服、衛生、家事と おぐしの手當て、衣類、

これだけは是非心得て

科學小辭典

の遊歌者と歌歌に歌の扱いた。彼に成動した。然し彼は感動で、彼

軽快なス

は

中山

婦人服店

助大統御中の食地

はハレルの町全種をと

出から歸つたら とあつて、コンセニトブラダルユタコードを持ち來るのはらるさいをコードを持ち來るのはらるさいをの隣にある電流を取り出すため

でさつと洗つてから洗ひ粉なり石でさつと洗つてから洗び粉なり石でさっそのとき一度ぬるま湯 闘りになつた時などは、ぜひお湯洗髪をなさいます。お花見からお 一度ばつばつと埃を拂つたら風通 第三課·衣類 娘はず止むを得ない時は良質のも郷って下さい。揮撃神はなるべく のを選んでご使用のこと。

見、ピクニツク、ハイキングと誰方も樂しいれるなさいませうが

あすは日曜日

お花

ク

上からアイロンを掛けておきます が寄りましたらハンカチを當てた

ます。次にブラシを掛けるので一話)する すみます。(町田やす子さんのお

埃は大敵です! 第四課・洋服の手入れ

お花 見やピクニックの料 持つて飛び出すくらぬであつてほ お座敷へ上る前で開さき がい、対照さきの機水などにど れだけの便利が分りません。さて が関するのでは、ません。 なさる方へのご社覧として、ぜひなさる方へのご社覧として、ぜひかたします。外出から踏ったりにはないたします。外出から踏ったりにはないが、これから新築を

まづ手を洗

皮膚には

休養

これをモット

一にして下さい

掛けてピクニックなんて圖はないることが大切でせる。訪問着を引 裝は、できるだけ酸素なものであ

第一課·美容法

りませんけれどもな頭の色のはげりませんか果外線が強いせるか知

お夜食としてはご飯だけ吹けば たことはありませんが、それが出 火を點じておいて、その暇に脱い たびれ切つてるますから早く くらるの仕度をして出るに越し 子供たちは一日避んで

風呂はなるべく早いめに 岩 藝 文 交壇の現在か 革新的な開拓から

し易いものはその戦 世にあた。しかし歌壇で の元参照存在たるを失 た。「虎の鑑賞」と云は た。「虎の鑑賞」と云は つき はなかつ

ではなく数中にある。 ち切れずに聴向い 頃の文堂 氏の方でも交渉のデャーナリス 氏の方でも交渉ののかきは問題にするやうな地位で す、また問題にするやうな地位で も、年齢でもなかつた。 戦年は 氏の方でも交響のデヤ

でゐた。機に歐大數機の職を退い「多相」に據つて歌傑に残窮する の文献界に貢献したかが分かる 金龍的に見なければならない。 けてるる人々取分け新詩社

れましたが闘や草へお腹物を配れましたが闘や草へお腹物を配れてある。まな臓の配れてあるきません。おな臓の配れてある

也にまで旗に転

いたよう

於てこれを見ると、氏は歌塚に於 には謎らない。女響運動の方面に である。國文製者としての氏は好

油香、风的

主義が傾向に動いたヘンデおいて古今衛歩の音楽をな の迅震、劇的内容へとオ派教音楽の象牙の塔を降

から大仕間でワインを費り出した しから大仕間でワインを費り出した のみならずサキソニー 選 でもあり、彼は自分の家

れば、この催しも言然でら、むしれば、この催しも言然であつてみ 乗が催された。現在引渡き要荷に キソニーの工業都市ハレルでは、 この呼ばを記念するため盛大な脱 Q R

の世界性、そしこでは、- 55 の世界性、そしこでは、- 55 の世界性、そしこでは、- 55 の世界性、そしこでは、- 55 ヘンデルを懐ふのも無意義である 代意識の一要素である。で、こ世界性、そして古典への闘心は でにして以来の後の貢献は窓に一七一つた。一七一〇年、イギリスに関 の豆匠と目される製術上の製かる 独生の日、イギリスの最大名は 五六年四月十四日、七十歳歳の

各

とて光記を放ったドイッよりの動 して光記を放ったドイッよりの動 ける最も偉大なる 約半世紀の間、ロンドンにお

(今西つねのさんのお話) とはきちんと衣紋掛に掛けるなり の観は特に埃やシミがつき場いかやうにし、なほ男のかたのズボン ミはその日のうちに揮撃神で抜くてするなどといふこと。ひどいシ です。次に心かく可きは一般ぎす 注意してそれを除きましたらあ くらか聞いめのものと方が結構 第五課·衞生 お薦を上つた人たちは、膨脱によが何より大切です。それにはよく あとは / 見體の休養/をとること
田田がいて疲れてゐるのですから
いて変れてゐるのですから
をは / 見聞の休養/をとること つて疲勞を去ることが大切でせ お料理もしなければ それにはよく ぜひ手先き

ルよく手を飛ぶんこと。次に / らがひをす

やんに直接指さきや顔の近づくこ ん。(醫學博士・西岸道芝氏談)

オラ

トリオへ

ヘンデル二百五十年祭に憶ふ

小事に拘泥せず、體驅も頑丈、

柄は

粹で高尚萬人向

染は堅牢

宗教音樂」より

大な性格を音樂に盛つた。彼はイい意志力と忽耐力を受けついて個

能ひ、ドイツで生れたにも加ら

スの意気家として空前の

、結婚もなく、全く公的生活に彼には家庭生活といよものはな

外出する前から

お夜食準備

これだけは是非して置く事

第六課・家事の心得

が、これから新築を一ことを頭におき、夜が悪くならなとはちよつと選ぶか一として第一に心がくべきは明日の 共に宗教音楽の創設者としてが世界音楽の創設者としてが

ンデルといふよりも、

無言の刻苦へ 興謝野寬氏の文學的業績 た。 ればならぬ。 東部野童氏の戦争に立つて配される た。女変師には時の人であるこ となしに氏の戦争に安唐して ことなしに氏の戦争に安唐して

 \subseteq

から親くしてゐたので、氏が華やといるといるといるとない。 年達は或は奥神の意氏に就いて印現際だけにしか治目しなかつた意 在を重んじた。 筆者は第二期の「明星」時代

ろが少なかつたかも知れな 識を思ひ返すべきであらう。わたまた研究家としてのもろもろの業 の業績を批判しらる。氏が既年に しは友人の一人ではあるが、私情

不適なものだ、と思って居る。不適なものだ、と思って居る。 學 藝消息

◇香の青・茶舎・洗心◇香の青・茶舎・洗心

新にして難さし

無嫌を帯びて居た交感界に如何につた文皇護職が、いささか養護の 事。

曲新報(四月號)東京四谷大 其武、三〇銭

保存を補綴 口 腔 外 科 レントゲン科 大 相馬医院 和 信濃町四四 電話2·7482

角的河三爆広西市建大 番O一四五·二話電

日本髪にも

ゐづ

きれ毛さけ毛





P

かな

みごり

0 黑





各種手藝無料教授致します

材

料

一流の新刊手藝雜誌等も毎月續々到着 最新流行の各種手藝に開する世界各國







助六裏地製流元 京市日本機馬畑留町



前期に行はれる彼遊教授の憲法を

閑院宮殿下

米視察團御招待

就任承諾か

電販下には大日本数が管標数の 電販下には大日本数が管標数の 電販下には大日本数が管標数の に經際便能として米國より、わ に經際便能として米國より、わ

の設置に関し重要協議を行ふための設置に関し重要協議を行ふため

野し、先づ嗣相より高艦戦相に跳した。 に町田離相を訪り というのでは、 に町田離相を訪り というでは、 に町田離相を訪り というでは、 に町田離相を訪り というでは、 に町田離相を訪り というでは、 に町田離れというのでは、 にいるでは、 にいるで

同・
 記述
 日・
 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

 日・

ME

後高橋戦乱は融る

非常に長かつたのは継談

機關說問題

京大にも飛火

渡邊教授の講座停止

紐育銀塊相場奔騰か

仙に引上げ

『東京十一日韓國通』米國極東經一要求するとともに所謂ソシアルダ 『東京十一日韓間十一時正 わが國諸商品の廉價なるは勞銀三回懇談會は十一日午前十一時正 わが國諸商品の廉價なるは勞銀一のみならず勞銀を除く生産條件のみならず勞銀を除く生産條件 のみならず労銀を除く生産條件 のみならず労銀を除く生産條件 のみならず労銀を除し説明し

亘って協議す

り知れざる情勢となった寫め、

つた、 職税および 質易の部におい

一記を聴取したのち雨画脈光事業を 一説、高久ツーリストピューロー製 一説、高久ツーリストピューロー製 一般の雨氏を招き観光事情につき意

の部は米國側艦長フォープス氏鉄

よく考へて

高橋藏相の談

『ワシントン十日 報酬道』 米國政府は外國間の戦争と後 統領の中立政策(は次の諸項を含む ものと見られる

れに對しても米國市民の参加を 禁止する 禁止する 禁止する

法案を提出、交職國への施 主張したが余は全

第二回日米

何れの交戦國に

しも参加せず

助も拒否

上價格は銀の公定價格たる一オーしたが十二日出帆のたこま丸で出上價格は銀の公定價格たる一オーしたが十二日出帆のたこま丸で出

正中立を堅持、交戦國軍のいづ一者に駐し次の如く討明した、米國政府は外國間の戦争に嚴一へル長官との協議後ル大統領は記

新產銀買上價格

初内

審議會

調查局

八選に首相の苦慮

昨日遞相、商相
と懇談

なされるものと見られてゐる

かに落着する機様であるかに落着する機様である

講師解任

國體明徴の訓令

南全權大使の名を以 **仕滿官公私立各學**

有吉公使から報告

今月下旬歸朝して外相へ

同時に重大建言か

今月下旬歸朝の有吉公使より廣田外档を始め各關係方廊に報告される害であるが、右報告と同時に公使より對支政策に關する軍大建設が次の營養は短期間なりしため何等綜合的結論を得るに至らず、報告と意見の交換に終つたものゝ如くその成果は公使館において楷理の上【上海特電十一日獎】去る八日より三日間に亘つて開かれた在支總領事會議の經過店至結果に關して公使館は一切公表を避けてゐるが今

避分問題につき協議する事に決定 と打合せの結果、 変數日間更に撤 計の上端消國皇帝の御歌京と来る 十五日緒接搬事正の着世を待つて 十五日緒接搬事正の着世を待つて

上海より水平

所の主張には可成りの敷除あり、 所の主張には可成りの敷除あり、 所の主張には可成りの敷除あり、 カ駐支公使

1 大山東ボナ文等獣米派と約び動支 中だつたカドガン獣支派に、電響 中だつたカドガン獣支派は日本 中だつたカドガン獣支派使は日本 中だつたカドガン獣支派に、電響 手機能解成果を戦めず十一日午前 が出述への記者の動闘に動し一切 が出述への記者の動闘に動し一切

『東京十一日殺國通』今回測能並 ・・一ト銀行艦を崩刑に解除すること になつたが、これに動し

信託側 三井、三菱、安田代表者 野村、名古屋、愛知 野村、名古屋、愛知 名づゝ計十七名 安田代表者

が参加する事になった、一行は今 月末出蔵、緑二濃臓の象定で各主 要都市を醗酵、高洲の經常状態を

横田少佐來連

では今回が兵第十五職隊 田卯助少佐は今回が兵第十五職隊 田卯助少佐は今回が兵第十五職隊 大隊長に発戦が出のため十一日午 大隊長に発戦が出のため十一日午 がするよりも、明子に

を 対し、それに役が今送どの女 だめにホテルに行からかとも考べためにホテルに行からかとも考べためにホテルに行からかとも考べためにホテルに行からかとも考べためにホテルに行からかとも考べたのとなりに、何は明子に追分の熟語を注ぎかけてゐるうち、いつか、自分自事がけてゐるうち、いつか、自分自事がけてゐるうち、いつか、自分自事がけてゐるうち、いつか、自分自事がした。 あた。

笑しながら、そつと振りかへして 帯側はそつと、明子はかるく歌 帯側はそつと、明子はかるく歌 く青柳の手を握りかへした。 「わたしがあなたの凡てを信じま 云つて、明子はさらにつよ

た三百七十萬曜の土地に人口十萬 人を目標として本年度より三ケ年 の総暦事業で都市記載が進められる際で選近省が主となって限に係 るが、この都市記載完成の魔は選 があられる機器である 施される機器である に大都市計量が魔さるゝ事となつ 『ハルピン十一日 酸國通』 資総線 大都市計畫

一字街

(37)

込吹生先郎太固父秩

淺原

橋本八百二繪

定められたものである

◆水谷秀雄氏(群馬縣學務部長) 十一日午後十時三十分著列車に て着連 本百月太郎氏(大連市會副職長) 同上解連

只

今!!!

全滿中繼放送中

牡丹江の

銀行團の來滿 春の情炎(1〇)

かく、 青緑によりそつてがいた。 かく、 青緑によりそつてがいた。 ちら連れの森や、街子のことも 頭ってたがでは考へなかつた。何か酔 二人はいつかがいて海岸公園の 一二人はいつかがいて海岸公園の では 世界の城のやうに浮び、 変の気に 世界の城のやうに浮び、 変の方が、 葉やかな内部を想はせてるた。

二人は膨脹の下のベンチに膨を かの浮脱の船「尾"懸か、三つ四つ かの浮脱の船「尾"懸か、三つ四つ

込吹卷全座講兩 圓十價組一枚十







側近者も感歎 皇帝陛下の御造詣 昨日東洋古美術作品御觀賞

涙ぐましい情景

御養無に實促し続らせた山脈式部一人として十一日の影筋を彫御機の一人として十一日の影筋を彫御機の 多摩御陵御参拜に扈從して 山縣式部官護話

の大提灯行列

羅馬教使節謹話 昨朝京都に着く

朝鮮の本年度

張軍政部大臣來哈

常設調停委員任命

補助航路船

日本精神聯盟

この女によつて、敵々真面目にな

がえ、からなる日を、どんなに待 ので、新らしく出殺します。 (例は生活の影話を根本からやり)

土灌水 工漑

化排鐮

に歩く彼女をみながら、自分も南郷は、よりそつてうつむき加

來る天長節の當日

旅順第一小學で結成式

酸な複響でもあった。

にと想つたり

青棚はかう云ふと、さ

さらに燃え

解熱鎮痛新剤

僧金四十銭

に連れて行つて、

そのため、他の女性の場でなって、自分の肉情の情

するんですよし

師團對抗演習

住命された 能動調像を最高の激州部園を観に 記述のである。 に成立した論り及び日本三國間の 官伊藤博氏は四月一日附を以て経 技術のため十一日市内各方面 技術のため十一日市内各方面 であっため十一日市内各方面

(株式 西島製作所大連営業所 株連市山縣通八八

あかつた火のやうな情熱で、彼女の、語。をもとめた。明子は青郷のの、語。をもとめた。明子は青郷のの、語。をもとめた。明子は青郷のの、語。をもとめた。明子は青郷のの、語。をもとめた。明子は青郷の郡心が護分とがめられ、また。青郷心が護分とがめられ、また。 「明さん、永久にだよ、永久にだ 本邦唯一の専門工場

變裝自在の前齒に

まる八日覆町ドックに繋留中の湾 通丸一等連載士書柳藤郎氏所有の ブルワーク三二型業能一般が何者。 かに窃取され、所轄水上製では時 がのではいる。

(日曜土)

日

を受り更に河田は除勢を乗って受験は十一時二十分 総せしも窓に山田に既れ要様は十一年 の場合である。 「「一年」のが成職を以て満転送底を を表る、 「別戦十一時二十分

6で簡單に敗れたが爾後強球を打上行の表演なブレーは涂々に挽回 とびみニセットを奪ひ更に第四セ 上行の表演なブレーは涂々に挽回 してジュースとなし、見事な強球 きまつて勝つ

鈴木一

天晴れ十六少年

友人を惡道から救ふ

名の患者を見たのみで、現在に至

つひに眞性ど決定

本 宮 105 510 6107 12 1210106 104 1015 計 計 計

恐しい發疹チフ

内に發生す

した、患者は若然町五十四番地湾で有する鍵後チフスが市内に鍵生で

とリードし洪よく頑張つおいて川村盗々好調とな

勝チフスに比較して特に目立つ一般病院長は融る

義烈を偲んで

|横川、沖を語る會

黎明の鐘つく

北滿の戰士たち

バラツクの明朗食堂

やかであり、眺かで

伦惡レコード 大連署愈よ取締りに乗り出す 下退治

曲

能感候に動物を開始 を見るに至らなかつ を見るに至らなかつ

いつ、 どこ、

四月十二日、

+

三日

主

ペロケ、ダンスホー

ベロケ、

ダンスホール

全 北瀬佛徒の線本山後 北瀬佛徒の線本山後

混つて開拓北進の倉皇舞響であ

あす同志の集まり

十四日総幕式

双松氏の句碑

英國製高級煙草

ユーモアーな春の踊り

しルチ ポリドールチポリ

光る金齒の嘲笑

前後五回の犯行に凉しい顔

名探偵連も地團駄

を受けてゐる、越えて四月八日伊勢 屋へ持つてゆかぬらしかつたがを受けてゐる、越えて四月八日伊勢 屋へ持つてゆかぬらしかつたが で持てからダイヤニ個(時慣九百 屋を纏り二百回で入戦しようとし 五十回)を詐欺した恐行は、二回 たらしいが、何れも答しまれて失った。 こ回とも渡職変の食社員に併け同じく 既に終つて砂跡がある とも背職変の食社員に併け同じく 既に終つて砂跡がある

カ 屋へ持つてゆかぬらしかつたが、今更彼の大にた大芝居であつたが、今更彼の大

情敗す 情敗す 村三

松村〇 813 101016 三河田〇 12105 108 | | | | | 104 107 10

代は常初に還

事は今回三菱暦

丸で、質素膨入

わが河田の奮戦も空しく

學聯軍に凱歌揚る

戦十

〇山 田三 101212 - - - 8 1010 〇片 麗

平天鐵路學院

いて研究中であったが

女警官 天津で採用



大連市岩狹町二番地

新京出張所

益々好調の河田 首實檢 日本人三名の嫌疑晴る 自動車ギャン

本日"四日間

命絕讚名書

岡見選手

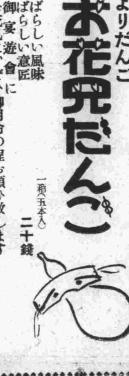
密値に漕

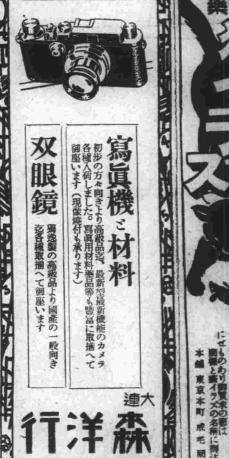
天 丼 紙・ 切・壁 紙・ んザー・量糸・ 光腫線・1リ紙・ キワ複発売元・

勝山洋行

お花見に、ぜひ御用命の程お願ひ致しますすばらしい意匠ニ十錢 大山通り林

洋行菓舗





航空鉄航から

て来た即驚は透かさず、

うめえや、てめえの

日

明をいぶし牛車の雨わきと後に二まだ六條の燃えてゐる最中。

たら降りて歩くも苦しらはあります。続の人らの細胞へかよりました。熱の人らの細胞へかよりました。

一四日間限り十二日より

(179)

内地間屋の整理品

供服

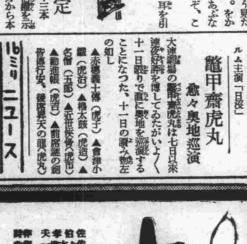
贺

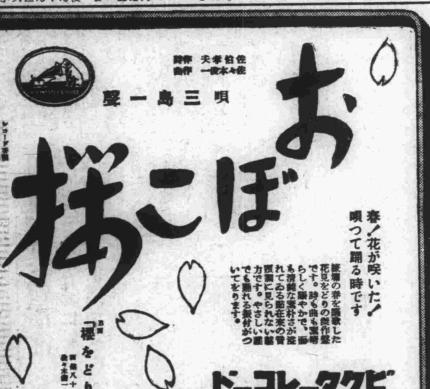
職者があつて、計手が続いてゐる し、謝酸な者と疑はれるとどんな と歌歌にあふかもしれぬから親切に 注意するのだと云つて、

水て、ぶしつけに酸の内をのぞき つ役目なればし つか~~と半車のそはへ寄つて

年末に至る迄の排切ライン・アッキ末に至る迄の排切ライン・アッ

本年封切豫定本年封切豫定





養養 第二月四 東西部中

the Taste

栗最中

自

Ξ

7

御進物用箱入

本各地名産

珍

6

Joy of

ii.

店

界各國酒

食

8



(07

三十錢

日

★・春唯一の豪華版

小杉勇·島耕二主演

五円で

裁断師・赤津秀雄・ でサービスいたします

赤津洋服店

買へます

切

築める娯樂品! お子様からお年寄

坊や萬歳 作特超トンウマラパ

経讃の名書と 始

RKO、特作

東京

式

羮

大連西広場

内地いりて新荷着 衛配達致しばす 貫匁に付金二圓三十銭 <u>++</u> 映 電話二・七九五六番 頭痛上出土的

番だ





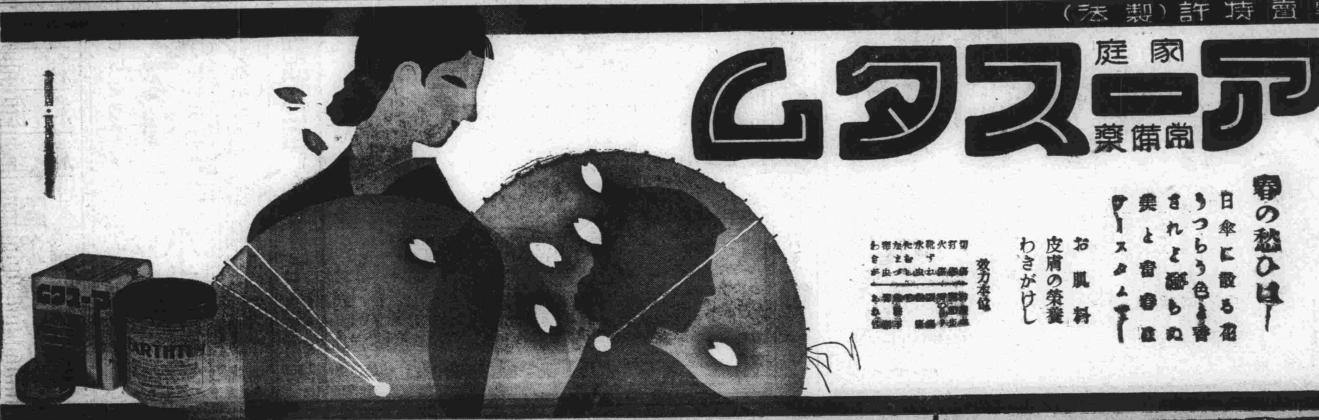
春の情子・・・・・新着



皮膚 編 語科 大連市西迪!

發 新





生業(單位十錢)

十五萬坪の敷地に

に方針を決安、近く日畿並びに必要なしとし提置させしめること

に出たもので演洲側が反對すれば配の基礎を鞏固にせんとする意識

十職場の宏大さ

(括弧内は原葉すべき車輪数) 客車 エー四(一五〇) 質車 エー四(一五〇)

京(短知) 京(短知) 京(短知) 京(短知) 京(短知) 一東新一盟至一

哈爾濱工廠を見る正

げるのだが庶日

めてゐるが、商工省では値上げの なほ概弦金融学問題は之により共 をり共脱と商工名富高の動弦は激めてゐるが、商工省では値上げの なほ概弦金融学問題は之により共 とり 既忘方針で趣むこととなつて 共販では引上げを希望し覧報に第 突応方を下端することとなつた。 し、既忘方針で謝むこととなつて 関東京特層十一日孁 四一六月波 共版及び嶺洲側に就いては熱讀事 理由はあるが共販が安勢するとは 東京特層十一日孁 四一六月波 共版及び嶺洲側に就いては熱讀事 理由はあるが共販が安勢するとは

銑鐵の建値は据置

商工省の方針決る

共販どの對立激化せん

大連機械をも退かん

会意向も有してをり、任期国力後 の皆子も評価し味能の一級より退 の皆子も評価し味能の一級より退

役員會の承認を希望するとこ役員會の承認を希望するとこ役員會の承認を希望するといい。

高田商議會頭 辭意を表明

は從來の如く國內インプレを目指 の態度は注目せられる (東京特體十一日藝)米國政府は つて支那が如何なる勢深を講する (東京特體十一日藝)米國政府は つて支那が如何なる勢深を講する

米國の銀買上値引上で

市價品騰せん

わが爲替筋の觀測

画書社の設立に願しては日本内地 ・ 大の衝動を奥へ近く日本生命保険 大の衝動を奥へ近く日本生命保険 氏は左の如く離った 新京へ行つてから風邪をひき、
恢復したと思つてゐたが闘連後 [新京十一日發國通] 中銀三月

後場大豆は邦商の優勢賣に一賣物優勢に

地市況

温保(袋込四九七〇四九三〇大豆(種物) 出來高 三百車 普通大豆 出來不申 豆 粕 一四七〇 一四七〇 出來高 五百箱 記 油 一四七〇 一四七〇 出來高 五百箱 高 梁 出來市不

奥様内助手記ま人の御師宅運き時は即ち翌朝

ーンンを奬めます

『吉林十日殺』木材王國吉林の經

吉林材界不況

000,1111

天國幣からの 壹千拾萬圓 品取主 な 目扱る

冷凍魚、鮮魚、鹽乾魚、罐詰各一般

(B) 株式會社林兼商后大連出張所 大連、奉天、新京、吉林、齊々哈爾、哈爾濱、牡丹江、公主劉本 社 下 闕 市 竹 崎 町大連市乃木町十番地 (電話二・七五四〇番) 中在庫品豐富) 御相談に應じます **慶話園三六五四四番** 八 産 **永井婦人醫院** 女医 永井清子 電話二三六六六番 1 鑛 業

のみのコバタ

の掛けやらや 単版の穴の なら當然過 歯を美しく は褒めても したスモカ

て副作用なく看護者の手數を省き得らる。 液狀濕布の如き不便と不快感なく、用法また簡便にし 總ての炎症疾患に用ふれば、消炎、鎭痛、滲出液吸收の諸 エキホスの貼布は最も合理的なる新療法として推奬せられ 御注意 近時類似粗悪品多數あり必ずエキホスと御指名希ふ。 腹 患者に爽快の感を與へて治癒に赴かしむ。 包 二年 〇〇瓦 二五〇瓦 元造製

し確然。対底に付き十二アン王を一日を以て護奮階載となつたルビー学に引下げ、絶來無視なり一蹶す)本月六日無修正で通過

三月は平凡裡に越月

全滿生保會社統制に

感特殊會社設立か

營業範圍、監督權等について

關東軍近~意見決定

電性による事に決定を見る筈で、 監督による事に決定を見る筈で、 監督による事に決定を見る筈で、

高田會頭語る

滿洲中銀の

し、肥東州並に附野地に於ける保健康恢復せずし、開東州並に附野地に於ける保険業を監督一つた各方面に衝動を興へてゐる

静養のため

・五%)の歳なるも依然家洲粉 よると一時出趣り旺盛を蒙想され上り前月に比し二萬五千袋(一 既應である、一方敷門家の調査には百四十五萬六千四百二十八袋 りこよもと吉林の木材駅は瀬死の月中における小婆粉の大連な人 販路開拓も結局費の持ち属りに終

止る 尤

の蔵なるも依然鷲洲粉の蔵なるも依然鷲洲粉

ヒの野トの

泌尿器科科

X 整形線外科

オしい化粧品 マイスキン、ホワイトハニー、ヘニーローション・ラルーナ、アモンババヤ・岩野、テイビュールカン洗顔クリーム、 護顔、アストリンモントロー 沿線の側方は機器(3)六六〇六番へ 市内の網方は機器(3)六六〇六番へ 市内の網方は機器(3)六六〇六番へ

化粧品は

6

大連市但馬町六番地

西痛にセロシン(聖路心)日本橋薬局

で アイ レ ツ ト レ コ ード と ツ ト レ コ ード

災火上海 険保 沿線各地の御用命は Ö 輸 険

> 辨 柄 料料 滦 顔 料 塗

藥品

4

神 鑑 浅、バスベツブ、小 見 科 解 奉 散 酸 素 中山胃膨巣、タウンチリメン、デーリン、ドラシン・サーリア・ネオス人

佛の對聯盟

内閣審議會委員に

陸軍側からも選任

陸相、意思表示せん

到獨政策を慎重協議

ストレーザ會議第

目

人時郷一次公式コムミユニケを養養したが、ベラ島には代表以外の者は一切近づけず繁殖ラヴアル氏、伊龍楫緞外組ムツソリーニ氏、外務次館スヴィツチ氏、脱莢大便グランヤ間十時より脱艦された、出席各國代表は英外組サイモン氏、同次館ヴアンシツタート、『ストレーザ十一日最國通』歐洲平和機構の確立を期すべきストレーザ倉職はマジョー・ 既伊大使ドラモンド氏、佛首は

コムミユニケ

南京政府の財政

計畫

総談を行ひ、十八日離京モスクワ

のが銀行家の意見

を其儘採用

宋子文氏

の親日態度

對獨態度穩健に傾

一同の要求は大體左の切を がに 歌し声を違反行為 ドイツの

英の對支借欵

刀公使具體案作成

世野支寒公使カドガン氏 つょあり、殊に新駐支武部機合の 全大子の指導者と目されそ く来氏が帳前した理由は外國借款 を対する場である。か に、 大子の指導者と目されそ く来氏が帳前した理由は外國借款 できまれる かん できまれる できまれる できまれる できまれる できまれる できまれる できまれる できまれる しゅう

用したものである

一日ソ通商貿易を提覧すべく就意職 「開を進め、ソ職の經濟情勢を詳細、 に知る必要を痛感し、今叫起ソ大 に知る必要を痛感し、今叫起ソ大

スクワ發來る二十日頃東上する、 同氏は去る八日モ

獨、蘇、波三國を加

英系銀行借欵團組織

私的借数の形式を採ら

大田大使旅程

周氏は約二月常京の上ソ職の五ヶ年記載その後の新版院、重輕工業 野、經濟視察戲の交換等に職し業 野、經濟視察戲の交換等に職し業 大野議の形成、重輕工業 、経來日本より輸

で借款圏を組織せしめ表面は とて當地英國系三大銀行たる を借ち再度人京して最後的取換め なほカドガン氏は本國政府の回訛 日蘇貿易策樹立 川谷商務官近く歸朝

北維護後突然成立による日ソ間の一的平和確立を企圖し、ソ職と政治【東京特轄十二日藝】廣田外相は一新鵬保を利用して兩國を交の恒久。

『新京電話』十一日東京被跡化の 途に就く大田睦ソ大使は敷鉄經由 十七日着京の豫定であつたが、南 東市舎官の都合にて日程を變更し 十六日午後九時着のひかりにて來 十六日午後九時着のひかりにて來 十六日年後九時着のひかりにて來

首訪問 側候補者の椅子をの場合には一先づ

岡田首相談

総要して成るべく を表し、調査を表して、 を表し、調査を表して、 を表し、調査を表して、 を表し、調査を表して、 を表し、調査を表して、 を表し、 を表し、 を表し、 を表し、 を表し、 を表し、 を表しるが、 ので、 につき、 ので、 につき、 ので、 にの主が、 ので、 にので、 にの

藏相受諾 副會長就任を

| 東京十二日殺國通|| 岡田百相は十二日午前九時十分高艦艦組を訪けて内閣都護衛の融にたところ、高艦艦組は健康の会としたところ、高艦艦組は健康の会としたところ、高艦艦組は健康の会としたところ、高艦艦組は関東の会としたところ、高艦艦組を訪けて内閣を選挙の会という。 蔵恵の人である。

選集において脳田外様、高電影母、 がに跳支騰級等につき継を報告するところあつた。 死に脳田外様、高電影母、 がに跳支騰級等につき継を報告するところあった。 死に脳田外様よ るところあった。 死に脳田外様よ るところあった。 死に脳田外様よ できか、また今後の通商機像の前 の前 の前 の前 のが高なら のが高なる。 のが高なる。 のが高なる。 のが一のでは、 のがでは、 の

蛇角

十二日の閣議

な
・
・
の
は
の
大
安
で
は

の
な
が
が
か
う
。 怪談に終るか判つたものでない。 4

電影が大型張製器上海は第三軍監察が大型張製器上海は第三軍監察大型張製器上海は第三軍監督工作人名の確認と共に十二日午前七時二十分チテハル者、十六日送 軍警合作後は各地とも軍警問のした、車中同少將は融るした、車中同少將は融る 隊を巡視した後同日**際氏の智**なほ矢野少將一行は士三日成順部 を伴ひ大連慰兵隊巡視のため十二同部員無勝良雄中佐、山村勇大尉 よく協力してくれるからで、重と、警官諸氏が時勢を知られてと、警官諸氏が時勢を知られて 現する方針である | 一般に着手し出來るだけ急速に實際と同じこれが含め牡丹江におい 處移轉 | 大野俊少将、鵬東憲兵司令部附]
| 十二日午前八時養列車で來連十二日午前八時養列車で來連十二限長)| 同上 | 震慶良維中佐(同上)同上 | 雷慶良維中佐(同上)同上 | 日邊治通氏(満洲國参議)同日 | 日邊治通氏(満洲國参議)同日 | 大谷章一氏(鵬東軍重慶部陸軍 | 大谷章一氏(鵬東軍電慶部陸軍 | 二等薬劑正)同日正午遊はとに 橫道河子辦事 い事だ、これといふのも岩佐司績をあげてゐるのは寔に喜ばし 矢野少將巡視 午後四時五十分一發列車にて本次郎氏(蘇家中驛長)十二 と思つてゐる

最新式であると共に使用に便利、豪華版であると共に使用に便利、豪華版であると共に使用に関る廉價だといつた。多分、本書の優離性は、ほど此のケ峰で載ひ得られるであらうと考へたからである。といふのは、印刷術が大進歩を豊富にしたり、細數や巻を豊富にしたり、紙數や巻を豊富にしたり、紙數や巻を豊富にしたり、紙數や巻を豊富にしたり、紙數や巻をも見てないやうに十分に壓を易なことだ、が、それを容易なことだ、が、それをおって以て厖大な書を製造するといふ事は決して容易なわざてない。………

國邊境の 支那の日滿接近は掛聲のみ 蘇聯の極東への輸送力増大 關東軍第一 源長 石本大佐談 近情

の整備や装備の充質に北歐連 に出て居り、これらの交通機 に出て居り、これらの交通機 大體平穏である、

附近の保安隊員約二百名が敗編

在齊部隊檢閱

へばその位のものである、

ては交通機關の完備を機とし な掛撃だつたが、却々質は添はの日崩南國への接近も一時大變 本氏)

は全部完成するも

輸送能力は八割方

まの状態計畫は吉田氏 ちれるので、この機會を利用して打除機能量は吉田氏 ちれるので、この機會を利用して打除機能量が必要大の物質がソ職に輸出せなり要大の物質がソ職に輸出せなり、又完氏は支那 的指衝をなしつよあるが、北畿代した。 『東京十二日酸國通』駐日オラン 『東京十二日酸國通』駐日オラン 駐日和蘭公使 重光次官ご會見

『哈爾濱特電十二日藝』哈爾濱 新記は北瀛接收後、濱鍛織權道河 大に熊事處を設けたが、同地は山 に取配まれ市館濃張の可能性活し く且つ耐蝦線との連絡を缺くので く見つ耐蝦線との連絡を缺くので

窄、簡約であると共に周到私は、厖大であると共に緊

毎に配本いたします 五卷既刊以下三ヶ月

て來たので何とか話も進むだらかしボイルノールの漁期も迫つ

受信所、場所、演奏音楽師等の見 撮影の後電話局、放送局、沙河口撮影の後電話局、放送局、沙河口

却を捗をしく行かない

地が決定せぬのです

道示あり營業部開像事業を協議。 明九時から開催、前田營業部長の 明九時から開催、前田營業部長の

に こうな は こうな



慌ひ出となった

お待兼ね 第五谷《三上水 0 第一回配本開始

いや金漢語工匠のため、いや金漢語工匠のため

第五卷 特價五 昭和九年五月、「國民百科大辭中におよぶ未曾有の推薦文。中におよぶ未曾有の推薦文。中におよぶ未曾有の推薦文。中におよぶ未曾有の推薦文。 本書ほど簡約的に又緊窄的にあらゆる無駄を排除して編置された辭書は今までには決闘である。特髓の結晶體であるともいへる。十二品體であるともいへる。十二品體であるともいへる。十二名のからいつて恰好なところで ある。一以上坪内博士推薦文抄録 五圓(设順)

山房

本二百餘册を御興深く御書が本七十

京都府獻納品

を見等すべて御歌止めになり、 れるので、唯下はこの日御外出

ル下御帯京館八日(十三日)の御 ル下御帯京館八日(十三日)の御

けふの御日程

の地で白雪を頂く富士山の峰ぞかの地で白雪を頂く富士山の峰ぞか

度定で、聴宮

田程左の如し
湯島梨堂御成、午前十時中

第七日の十二日の十二日

以来初めて個人の資格を以てそれ に肥形園の御校章たる観花を彫刻以来初めて個人の資格を以てそれ に肥形園の御校章たる観花を彫刻

きのふは御休養

分原至一時間と、著しく時間を要

紫で無線電信の使用は年々皆の地間を能か十五分か二十分程

一日穀國通」諸外國遊に

ものと見られ將來の無線は、著し

廣軌線滿人の

の前陸軍機區司令部奉天支部長福の前陸軍機能に大陸長として祭戦

横田少佐赴任

在満感想を語る

百 理 化

局では慢素

中四日附を以て左の如く最後の経過無理動・動動・動動・動力・年度の香華天味が帰に於て時初九年度の香華天味が帰に於て時初九年度の香

劍道昇段發表

無電局合併

離宮内で終日御讀書

隨員は知人訪問や市內見物

沿道奉拜團體

御感激を迎に

三木兵器本職

語る

の奉送

は市立撃技代表の女子

安東省縣廢合

に堪へないもの意ある。

國通 皇帝唯下

學生青年團

…に手御のたなど

りあに店具女の個全

一に中ぬれ切費

在時インキ製造株式會社

土を御動間遊ばされるが、同時に 名の勝士に動して御墓子料として 金一封を賜るべき吐御及ぎがあつ たので俯瞰一同歌脈してる。

所に越きレコロ

dillo

小林毅、本村賀(以上無順) 一般(以上本大) 一般(以上本大) 一般(以上本大) 一般(以上本大) 一般(以上本大) 一般(以上本大) 一般(以上本大) 一般(以上本大) 一般(以上本大)

迫れ切賣

此の大景品

(等前)

(等多)

特費ライトインキ貮オンス入

大景品付特賣(讚貳百八拾八萬港)

インキ百年祭祝賀

!! 3

の際即時全部製作 とは神野上 で見ます来等をかり で見ます来等をかり で見ます来等をかり で見ますまでは神野上

(等特)

(等四)

(等变)

を側聞するに、

(日曜土)

れた市民の利害と慣習とは、

金州歌脈において五島行き戦勢にとう、五島は州内ではあるがそ歌し旅行戦の養行を停止するに至ところ、五島は州内ではあるがそところ、五島は州内ではあるがそところ、五島は州内ではあるがそ

滿洲國武官の 一行來連

の鼠附を腹脈的に際止する事に決勝感部、戦寒部、中観の四機勝よりなる中央統制委員會にかけ本年度は政策所見地から全演春期資金度は政策所見地から全演春期資金

一大性の等要大な響質を要するのでなく は 製金以上に悪化するものでなく は製金以上に悪化するものでなく

一般の成績はよいが奉天省殊には全部返荷した、からしたには今後貸附けてもよいと思には今後貸附けてもよいと思いたある、大機縣長、参事官のである。大機縣長、参事官のである。大機縣長、参事官のである。大機縣長

北鮮受命航路は

日本海汽船

大汽の英

新航計畫成らず

附情況は衛附二千八百餘萬圓

を見たのは八百五十

金州貿易商の

を受けせなかつたものであるとを受けせなかつたものであり、その必要を認めずとのであり、その必要を認めずとのであり、その必要を認めずとのであり、その必要を認めずとのであるとを受けせなかつたものであると

来回収一千九百七十餘

手ぬかりから

放行單停止の經緯

しないため瀬州國祝騰においては とないため瀬州國祝騰に出で、右撃送 総に膨乎たる戯置に出で、右撃送 はがは州外に整撃せるものと見歓

過過 『東京十一日報酬通』 歌画道の本 中に新潔縣を遺じた 大連門職の受職要望あり成行社団 戦 本記 (二一〇〇大連門職の受職要望あり成行社団 戦 本記 (二一〇〇大連門職の要需を 現へ新羅教より指定答 の機客服配表法 (二一〇〇人 大連門職の要要を 現へ新羅教より指定答 の機客服配表法 (二一〇〇人 大連門職の要要を 現へ新羅教より指定答 の機客服配表法 (1100年) 大連門職の要素を (1100年) 大連門職の要素を (1100年) 大連門職の要素を (1100年) 大連門職の要素を (1100年) 大連門職の表記 (1100年) 大連門の表記 (1100年) 大連門の表記 (1100年) 大連門本の表記 (1100年

丸 (二七〇〇順十五

〇噸十二節)を就

そのまう三ヶ月除を經過

中キロ毎月三航海、艦基

ると共に耐後の放行軍の發行をもし、去月二十五日保護金を後収す

(=)

說

旅順今後の

用は、竪衝闕東州の全般的設備中心とする旅大雨地の相關的利

○何味気軽つても止めやうとしないで他人事ながら膨が立つのは 「このでは大事ながら膨が立つのは

◆先日 「ベンガルの橋野兵」が良いといふので時間を都合して日がといふので時間を都合して日が過んだり、 良い階を得て悪んで居ると、 隣に坐つて居た

囘收不成績に鑑み

春耕資金貨附廢止

特殊のものは繼續

防止策として五島行貨物に難して高州國税機関においてはこの密輸

記の保護金を選附する方法を講じ あ、五島の緊
整上り低勢
新者の 説明書の交附を受け、これを一ヶ 意明書の交附を受け、これを一ヶ 右に願し大連水上警見田高等主任 製止するに型つたものである

は表示してゐるらしい、しかしは表示してゐるらしい、しかしな法をもつて際止して黃いたいとの意向を五島繁發達でひたいとの意向を五島繁發達で

丁寧にデザート送完全に職

(養養生)

まする底壁と、一般では大概が一個では一個であったが、

健康であるばか

商工團體聯合會總會

樹子の間を映画 トだと殴り歩く (ロンドン十日銀製造」アメリカを出載四月十四日より五月三日までよるという。 「ロンドン十日銀製造」アメリカを出載四月十四日より五月三日まで日本名館へ日英製蔵の財配を行りえ東洋電域の日本財配の直前イギ で日本名館へ日英製蔵の財配を行りる「ロンドン十日銀製造」アメリカを出載四月十四日より五月三日ま

はいるなめ、日報商工事情報組合 が に続する反情運動が小熊を保つた は 長の清雪組合設立記載が行はれつ す 最の清雪組合設立記載が行はれつ す 廣軌線消組反對

とうなった、一方新京においては おいて態任を戦者を開催、奉天における戦時を開催、奉天における場合を開催、奉天に 郷館を開催し、難策を鑑識するこでは來る十四日奉天において臨時 大田大使の

的視覚をなすこと」なった

『小田原十一日發劇通』歸任の途 についた大田大使は車中左の如く は種々の案も

を徹底せしめる事に決定した

満洲社會の諸相生田で満州の宗教を語る古界を満様人の就籍問題増永 州廳

行發會學政行溯滿

間 契約ノ翌日ヨリ百 大連廣小學校々舍 出場所(大 各圈 内科·川兒科

が、大陰において十一殿を五殿とが、大陰において十一殿を五殿と 關東州

上事請負入札公告 取人 等海沿海 人 等海沿海

、其他保險契約に關する一切の業務、補期、死亡保險金の御支排、保險契約に依る御貸付 洲(滿鐵本線遼陽以北及安奉線)

(大倉商事會社出張所) (鴨綠江製材無限公司支店) (鴨綠江製材無限公司支店) (明祿江製材無限公司支店)

代田生命保險相互會社 朝鮮銀行奉天支店 製 地 十 一 緯 路

十二億五千萬圖

一千一百餘萬圖

利昭和九年度 代田生命

經濟行政資料、地方事情経濟行政資料、地方事情を開建大臣に仕へて白井原

廢治 問外 題法

特權 輯撤

集募員務外

天商埠

昭和十

の業務を取扱申候間御利用御令般奉天出張所を開設致し左

北麓接牧に依つて四月一日より が主義の外近き将来に於て計畫 が主なれてゐる自動車網は双城堡、 されてゐる自動車網は双城堡、 されてゐる自動車網は双城堡、 大大大島、東寧 はれてゐる自動車網は双城堡、 大大島、東寧 はれてゐる自動車網は双城堡、 大大島、東京

モキロに逆し、その従事員も四萬 を受を加へて四干キロから一蔵七 を受を加へて四干キロから一蔵七

戦人の慣習として上奔を為すのでの東方に指定地を有して居つたが

影響が係では思索に触って之を今後どう使

は北郷王國だけあつて社宅の

自動車路網を

鐵路局が擴充

奥地の産業を開發

海辺爾を中心とする濱洲線及網布辺爾を中心とする濱洲線及網方面の外松花辺筋方面で

北鐵接收記念に

盛大な娘々祭り

外の耕地敷干遅をラ等の苗木蜜植をラ等の苗木蜜植をラ等の古木蜜植を

舊四月十八日前後の五日間

横に蜘蛛の巣の如く張り派ら

見知らぬ人達から續々齎され

感激し徹夜の作業

慰問の

の從業員達

| 大学古 | は自然 再演方配の人 ます、 東瀬の人々から見ると北窓渡し出価電人のやうな気等ちで | した思ひがけない人からの激動に | した思ひがけない人からの激動に | した思ひがけない人からの激動に | たら丸で | にならない、哈爾濱のした思ひがけない人からの激動に | ため丸で | にならない、哈爾濱のにならない、哈爾濱のにならない、哈爾濱のにならない、哈爾濱のにならない、哈爾濱のにならない、哈爾濱のにならない、哈爾濱の いて從業員等は一日の疲勞を知らぬ人々から慰問の手紙を

譲り受けはしたが

住むのにひと苦勞

れ、暖かさが増すにつれてや

尨大、舊北鐵の宿舍 を呼ぶこと」なれば早速社宅問題がやかましくなるだらう 題がやかましくなるだらう

生活をしてゐたらしい、家具も と亦大部分管理局から支給され たもので全部獲つてゐるが、之 が亦日本人には向かない、墨で が亦日本人には向かない、墨で を入れることになると丸で役に はたなので全部獲つてゐるが、之

基より牡形で方配に向ふ殿客に転が分間に合ふことになり又濃重雄が分間に合ふことになり又濃重雄

【奉天】西願門外の奉天市貧民收 チチハル、北安、辰清、哈嶺濱 ※順工順の総領扱力 大孤山、鄭家屯、四平街、光南 貧民收容所 紙匣工廠の設備擴充

発めてるるこれを漸騰の一キロ 東泉はなは不足するやうに思は るが、総日數十回も往復してる るが、総日數十回も往復してる 田奥地方面に向ふ貨客者し 圖寧線ダイヤ 再び改正さる

總局の慰安列車

五月一日に奉天出發

等を經て京圖線五常において終り

ボプラを養植

櫻の苗木もつく

b

化ど實用に

ものはない、すべ 歌を破つて、蘇る

いので旅客船

こく小型の冷艇でなければ適れな とこく小型の冷艇でなければ適れな 安心する が纏つたが、また一人も密教を差になかつた。動く時間、では容素を傍らに岸づけ、再び ない。彼の苦心こみ だ

「俺はなぜ恋進の答案を再び把ら反問した うものがなかつた。要道は心に まだ一脈の光明がない器では

5つか、成る壁、進撃せぬも遭撃 で変を になかった。 間撃道は で変を に悪いの注意を 着めて での 文章は一世、何を書いてる しまりにが、 直ぐと 先妻した。 三四人の電守が左右から駅け寄 で文章にも精通してるた。 酸然と言ひ放つた。

民會に移し四月一

『哈爾濱』がいる

り、要するに我々

これが遅れむべき機者へのせめて

を終へて世の中に出るまで、期待 云へば嬰兒ですからなあ、 日本人は先づ検討し然る後にも慣せぬといふ機者の心理を

創設三十年の歴史を持つ薔薇の現いが好成績を暴げてゐます、獣度

が脱底、一流どころの濁魔はおしなべて衝撃で叩。 定、紫黴の美事。

墨前署長 井上和記氏

は動物であり、阿片はと酒、同じ身を亡ぼす

上海年中行事のキネマ女王選択 で今年は天一公司のスター陳玉様 で今年は天一公司のスター陳玉様

儒林外史 無無瀬沼三郎 無無瀬沼三郎 神

で朱筆を執り、全文で朱筆を執り、全文

時代の變遷寂し 小村壽太郎侯が乘廻した馬車

延吉分館の倉庫に

【番口】 意口朝鮮人祭地は附臘地 これを期成者の經鑑として御

いか。これ以上、日警試験の必要

は成

「大先生、どうぞ口答試験をお試

と懇願した、周季道は顔を和げ

うたのでそれを纏めて場を去つた

受験生は答案を差し出すと床に

赤系の匪賊

各種の標本を蒐め

鮮人墓地擴張

動車に取って代られ、外地の領事 とい姦を横へて居る、それを新京館に保管教機となって職島製領事 流在中の影響家民主召館氏が先版館に保管教機となって職島製領事 流在中の影響家民主召館氏が先版

冬へ逆戻り

熱河南滿から化石も採取

奉天教育廳教育研究所

大博物館をつくる

から網州より標曲車が二回墳銭

意味を変化都市たらしむべく 感情で記載中だが先づその第一世 企業で記載中だが先づその第一世

したが、新倉長の飛飛はたいへん いる。 「小生は詩、詞、歌、賦、何でもはないではないか」

で変いる。 で変らく酸語を調ぜんとするや」 と一場し、また言葉を概けた。 と一場し、また言葉を概けた。 と一場し、また言葉を概けた。 と一場し、また言葉を概けた。 學道の觀容は俄に一變し威酸を 祝んや、本官、皆を奉じ り、他の前に立つて、恭しく敬意り、他の前に立つて、恭しく敬意

激した。概

の肥いが現れ「赤彩か白彩か」とで「そんなら危害を加へぬ」とて、 中「そんなら危害を加へぬ」とて、 かったので「赤彩だ」と答べる 出産、北方紋九十キロの東陽屯に二盛に分乗し三十日朝チチハルを に珍様して殿前衆と連絡ある者とみにの間事館へ居出たが

しく然も加 六名は福州修運艇のためトラッ

海拉爾を美化する

野洋 田 洋品

井之口

夏川小間物店 遞信局購買會 幾久屋百貨店 關東廳購買會 越百

遼東百貨店 貨店店

呈進景粗くなれも

に毎げ上買御圓

近 一 宜 並 自 省 要 房 豊 業 房

知屋

・・・・・中間期め爲の待優者用愛御 上買御圓一品粧化堂生資でに店賣販の記下

イフ

松井小間物店 本快心

化粧品デ 一参加店

四月末日まで

の緩和し、東京火災南副

職な推移を見せてゐる

は日本品の脈僧の彫訳

安院戦の昏戦に死めた

してゐるも到底習日の

第十二日923 火災保険舎 に行る經典状保証に転し編 同氏は来月中旬渡浦。同園におけ 電子無火保証に転し編 同氏は来月中旬渡浦。同園におけ

についてみれ

日満火災設立に

一月における大連

内地當業者は再考し

滿洲國側ご具體的折衝

日本商議更に陳情せん

正隆銀行に資金特約を交渉中

から一週間に建り

0

神科目決る 練週間

大連の卸賣物價

三月は平均六厘低落

三月業績好調新京金融組合

産

なほ類別に依る監督は次の如くで

表東林六店

加一三四日、減少二一日

すのとを中の明

10000 九三 100万 元元

に第二十八回定時總會

滿洲土建協會總會

高粱昻騰

明子

傳

保

木久

露特別大興行ビス發聲装置

鞍山北一條町二五番地 近江屋高店

安全なる株式投資法

Ancient SCOTCHWHISKY TAKU & CO

輸出は一割强減少 産地高で原料は輸入

(四)

の混合飼料

石油業法會商

接收後廣軌線沿線の

九1 101 五

物資は案外豐

一干三百條関の 際間の増加を示してゐる

率天土建請負業者間に

線に迷つて状況を調査した

支那の 表記條

原產地

立法院で再審議

神神九年度柳神経会は一萬八千六百 経 齢間に上り、年六分の軽端、車に一つ 高四千間の複立金をなす程の好成 織であつた

保證組合を創設

小越糕式后

電上海特領十二の成就により の成就により の成就により でする。 なつた

高九干六百二十六回で前年同期に に於ける無空難の職。被一高は動態 先殿交費を以つて認識したが 上ないので更に口頭で實現使 を放って表現で表現を を取って認識したが とないので更に口頭で實現使 とないので更に口頭で實現使 とないので更に口頭で實現使 を以つて認識したが (東京特電十二日韓)日本商語で は十一日午後の常議員會で備州國 は中一日年後の常議員會で備州國

鈔票波瀾を呈す

海外銀塊は連騰したが

支那の對策を懸念し警戒

引所總會 酸度「公私ともに」有卦に入つ

た親ちであつた。 た親ちであつた。 そろく「鬼體の方がいふことを きかなくなる、人間に生れて職 きかなくなる、人間に生れて職 で、響繁ね艦へることは伸々む づかしいと見える。

況全間

(特)三三〇人間(特)三三〇人間(特)三三〇人間(特)三三〇人間(特)三三〇人間(特)

大連卸相場(吐三)

高付 大引 金石 金石 金石

世界二回・一日・十五日飛行 石御申継大郷送皇いたします 石御申継大郷送皇いたします 満日社印 1.800日大 大連爾岩町二帝師(全世 印刷般 刷

舊軍閥とは離れ 邦商には押されて 類色濃き奉天外商

ある

海外高に躍騰し

麻袋反動高

1、三二〇枚

引際急反落

編教機塊四分三高、紅育一仙八分 玉高、温質二唇比十六分五高、米 英クロス四分一高、米支為蓋二十 英クロス四分一高、米支為蓋二十 英クロス四分一高、米支為蓋二十 英クロス四分一高、米支為蓋二十 大高、米日二高、遷水日周六十鍼と 引鞭き海外機材を入れて寄付四回 つたが支那の銀輪田禁止説に利喰 ひ急ぎとなり三回丁度迄引落して なります。

綿糸も昻騰

天澤山下田本

正十二時迄の入場者は

見子 狂文

公十三日

たものである

所 國 破

戎克の去來旺ん

解氷後の三道浪頭

生みの親として、育ての親として

一変之自 をこの事務所に持つ一の強地難一手脱壁を開始した、因い

各方面で設立を要望

技の健全

軍部一名

渉の事、卓に交渉の事

紅白野球試合

同高等科生霊記り述の試験に見事情行、巡査久山太貫夫の兩氏は今

瓦房店の合格者

本年度の活躍は早くも低戦ファ かり陣容を眺めた暗和戦闘所チー が関密を眺めた暗和戦闘所チー

四日出穀の豫定

遼陽も二名合格

員の二極とし、微助會員は普通組織し會員は費助會員と普通部州省内に居住する者を以つ

要山、寺島 栗山、寺島

まつて遺族の生活を保証しようと よって遺族の生活を保証しようと

は省公署に於て管理し其の利息に に乗り出す事となった、募集資金

が合格決定近く入所することになば第木益見、塔尾强、南巡査部長は第木益見、塔尾强、南巡査部長

田雨地方委員を能行委員に選出して機能運動をなす寫め西村、松めの一個に於て襲撃者の態毅に難成合派といるという。

今後四團體が合同して目的の貫徹

瓦斯燃燒事故の

ンに多大の脚係をかけられて居り 地球艦との駐戦に配然好成機を事 でべしとて大いに意気込んである で、機型も既に十齢日を縦け載手 が、機型も既に十齢日を縦け蔵手

稻荷神社春祭

【「上樓」

原因を調査

撫順炭礦が事故防止

所能すると 関係すると

矢橋崎根實井持藤谷

殉職社員を合同

今また解散の挨拶

新京鐵道事務所を閉す白井所長

奇縁と感慨とを語る

四年前新設の挨拶

降 客 に比して縦二端の衝肌で、満線縦降 客 に比して縦二端の面壁臓如たる

野球、庭球、卓球の三部を置く

第一期會員を募集

かので各方配から同情がよせられなので各方配から同情がよせられ

騒であつた

順一過股華天器で施行され

の生活さへ楽じられるといふ狀態 の生活さへ楽じられるといふ狀態 の生活さへ楽じられるといふ狀態 の生活さへ楽じられるといふ狀態 の事がはみ出したゝめで損害も の新がはみ出したゝめで損害も の新がはみ出したゝめで損害も の新がはみ出したゝめで損害も の新がはみ出したゝめで損害も の新がはみ出したゝめで損害も

所や正隆銀行支店とて一時は大所や正隆銀行支店とて一時は大小の新がはみ出した」めで損害もの新のたが降りは地方事務

一般を発げた承徳山田部隊の故陸軍 一般を発げた承徳山田部隊の故陸軍 一郎、同上等兵大 遺骨内地へ に體育協會

をはかり、明年度より機化煙草 ・監製の撮影派として影製の多角、 電影の撮影派として影製の多角、 電影の撮影派として影製の多角、 電影の影響を表現であると であると 安東省の産業振興策

密賣·四百四十三軒

によることになり、その名 選し奉天市内のみにてもと

遺族に同情の涙

全滿的に義金を募集

てるる中嶽者の謝査はその多動烈しを要望してゐる田者診滅に増加したものと言はれ一は一日も早く識

徐通化縣長の

ン氏が十日奉山線(郷田春田した 来) たがその後世に北平公使館のロー

一、日時 月火木食 初步學習者にも程度の高い人は、教科書及程度、改訂急就論、 支那語科講師大西勇氏 月火木金午後六時半

日上り左記により昭和十年度前期日より左記により昭和十年度前期 支那語講習會 [原圖析]

阿片溺愛者が増加

奉天省の中毒者一萬六千餘人

八居住者に

方事務所公費保佐々木氏心申込まなほ参加者は薩摩北代三十銭で地

日も生々しい恋願山に決定、十四日年前七時奉天縣線の測版地で献散業の版 -沙河々畔-歪

はではたが を終了してから急戦値下事性は確認である。 次されるものとみられてゐる 「下北鵬繁祭署に田置中の近場手車質バス能」下北鵬繁祭書に田置中の近場手車 参加歌迎で日富俊富 鎌地万事務所のア

大尾氏着任

日午後二時ごろ歌

親陸を兼ねオフイス のトップを切つた崩 から開放された日曜 夢にと好評の発演

ス事件

急轉直下に解決か

観光團

の殺到で

幽鐵、滿鐵の足留りごして

日曜如の奉天驛

〇九二 天五八名

各際のトツブを切つてゐる調で町 たから改正の意志に副ふやう全 八、普集、映画研究會開催 たから改正の意志に副ふやう全 八、普集、映画研究會開催 たから改正の意志に副ふやう全 八、普集、映画研究會開催 たから改正の意志に副ふやう全 八、普集、映画研究會開催 たから改正の意志に副ふやう全 八、普集、映画研究會開催 たから改正の意志に副ふやう全 八、普集、映画研究會開催 たから改正の意志に副ふやう全 八、部族製作 大、部族製作

棉花や煙草の

栽培を奬勵

本機関官の新讃する所であるが本の年度新入所生約五十名は十二日年前十時より第ロ小型校議堂に於て ングにんと健康と

※ロー・ 「全口」 巻口青年訓練所は閉設以 「発口」 巻口青年訓練所は閉設以

【奉天】』をはハイ

に干金素移動問題經過數話の上上一京することになり一兩日中に宮織

安田驛長榮轉

滿洲國內各都市 長距離電話を實施

曜進途上の山海關

で見て居り 新春の場所には新選の成克なの場所は解水後 で驚された貨物は成克で総綱

【燕順】十日の老院整深版所高達 り燃搬瓦斯漏出個所 「同日正午過ぎ復蟹と共に直に作業 を突する筈である。 同日正午過ぎ復蟹と共に直に作業 を突する筈である。 同日正午過ぎ復蟹と共に直に作業 を突する筈である。 である。 については引責き影戦

投捕一二三遊左中右

日午後九時三十分頃市内大正郷 支那粋理天俗事八歌田郷吉方園呂 果より出火、火姫は健らの霧から 果まり出火、火姫は健らの霧から の霧から

八ご別れて

日々々不機嫌な夫さ

母親の間に板挟み

できるくらんです。実はおを流へんです。実はお

キングと誰方も樂しい

外出をなさいませうが

一般なり使用するやりにして下さい。 ものです。そのとき一度ぬるま器 でさつと洗つてから洗び新なり在

焼はず止むを得ない時はは焼って下さい。 揮破僧はな

ックとは

を洗ふりこと。大にしらがひをす

外出する前から

酸の近づくこ

お夜食準備

これだけは是非して置く事

第六課・家事の心得

よく手を洗ふんこと。次に一覧

第五課·衞生

さて外出から歸つ

たら、

きます。次にブラシを掛けるので、新しのいゝところでなばしていたと、オー度はつばつと婉を振つたらい過し

埃は大敵です!

第三課·衣類

まづ手を洗 皮膚に休養

お花りサピクニックの常一持つて飛び出すくらるであつてほ

帰四課・洋服の手入れ

立闘に手洗ひを設備されるやうに

お客様のお

くらるの仕度をして出るに越し

にびれ切つてるますから早く

子供たちは一日遊んでく

と注意として、ぜひか、これから新築を

これをモット 第一課·美容法 にして下さい

から外出から勝つたときはさつそ

反つて遊むけを読ふやうに思 ンの先で常に心からはがして す。それは爪の生え際の皮膚 、心の生え際からむけ に逃むけが出來てお

らの影を腕がなければなりませんくお手入れを雕して飲分でもそれ

腐敗 し易いものはその戦

お髪の



日

戦用でせう。(町田やす子さんの引つないてのお仏社は遊げるのがを興へるといふたてまへからは、



どい所へ出たあと、鉄子製を解き一の人は何はおいてもブラッシュをお髪を大切にする人はホコリのひ一まお飾りのベルが鳴つたら留守秀

第二課·美容



既はすぐ眠りた

若

なたのお母さん。

られてるますが 盛んに用ひ

例の二ヶ所が生じた時

の母と妹が内地から続ります。さ に調を申しましたら「母を苦しめ」?(市内・悩める妻より) いておく説にはまるりません。様 うなればどうしても私の弟妹を置 私としては今の主人から思されて た。母には豪理があり主人にも表 た。母には豪理があり主人にも表 に不愧な顔をして居ります。私は

拇指に魚の目 網膜に行つて手腕でもした

苦難を切扱けよ

責任はあなたにもあります

かうすれば萬事圓滿

でせら(今西つねのさんのお話) あまり熨さまが無の数といよもの /血壓/こいふ言葉

て全く革命的な関叛をした人であ

は最初のそれを意味す)を選じてる。「明星」(ここで云ふ「明星」

風は何故起るのか

リ返つちゃつたもと

期の「明聖」、社行の頃。 でもあつた。だが、近 でもあった。だが、近

りませんけれども変類の色のはけずいせるか繁外線が強いせるかりないという。とにかく満洲は疾が

文 は明らかに退役的地 明星」を主宰した時戦」と云はれ、新詩 革新的な開拓から 調野鷹氏は逝く。 無言の刻苦へ 歌地ではひとり 興謝野寛氏の文學的業績 から親くしてゐたので、氏が華やから親くしてゐたので、氏が華や た。野者は第二期の「明星」時代

ある。歌人と

類に一般が一般であるが、人の干田一にあるが人の干田一般が、……そればかり といはれてるた中 は歴度ガン張り 相この頃の妊娠 紋つき であつた。わたくしは女繁者の生であった。特に膨大教授の職を退いて書館の人となるに及んではさら 依任を重めじた。しかし、女皇を直接には知らなかつた。A るところが少なかつたかも知れな 氏の方でも交取のデヤ は放人の一人ではあるが、私情 不能なものだ、と思つて居る。

藝消息

動から手を拭いてやります。

だが、氏に親炎せるもの、乾に心だが、氏に親炎せるもの、乾に心 いとも考へられた。しかし、氏を

○四月十五日稲切り(各種五句ま)春の青・柳斎・茯心 川柳次回課題

ヴュウ

保存を補綴 口 態 外 科 レントゲン科

南前河三場店西市建大

日本髪にも

あ

づゝ

0

きれ毛さけ毛



と同じ荣養

牛乳やコナ

艶き

B

か

な

みごり

0

黑影

ナリズムの賦外に立つて置されることなりに氏の賦制第に数居してるた。文地既には時の人であることから選ざかつてはもこと 奥神野が氏の呪年は飛躍デャー 各 各種手藝無料教授致します 最新流行の各種手藝に關する世界各國 流の新刊手藝雜誌等も毎月續々到着 材



クラトリオーへ

教音樂」より

が気ができあり、彼は自分の家 レルに於ける最も燃料な外科をで あつた。のみならずサキソニー選 でもあり、彼は自分の家 現代意識の一要素である。で、こ てゐるから妙なものである。歌情 の二百五十年祭に當り古典意義である

日から一濃酸ヘン・から大仕腕でワインを乗り出したと二百五十年に驚り、密侯侍輩でもあり、彼は自分の家であるヘンデルが生」あつた。のみならずサキソニー選

ヘンデル二百五十年祭に憶ふ キソニーの工製都市ハレルでは、 も世界に懸たる管製図であつてみ も世界に懸たる管製図であつてみ は、この間に多記念するため際大な配 地が聞された。現在引顔き製御に Q R

約半世紀の間

とて光だを脱ったドイツよりの雪。 五六年四月十四日、七十歳歳の大 公生涯をさくげてゐる。こゝに後 の正匠と目される繁飾上の委があ の正匠と目される繁飾上の委があ の正匠と目される繁飾上の委があ 往生の日、イギリスの最大名 、結婚もなく、全く公前生活といいるのはな

助力務権やある地

中山婦人服店

なス は

(可認物便郵種三第)

、外出から歸つたら

とはきちんと衣紋樹に掛けるなり (今西つわのさんのお話)

心得・六ケ修

このワイン部

学校主 学識耳便逆頭と神 構退場秘上涌ス經 会議記不貯備す喪 等機値服量重1扇



今晩實滿各選手が放送

可直のメス下らん 經營者東氏への不信任から 舊債權者團起つ

を指集、某所に響。かに至ったのでころあり、耐能酸土 を指集、某所に響。かに至ったのでころ一瞬日中に告 を指集、某所に響。かに至ったのでころ一瞬日中に告 かに至ったのでころ一瞬日中に告 かに至ったのでころ一瞬日中に告

入の際、機關車に附随した炭水車の第十人庭客列車が新選子驛に進

ポスター

満洲國當局が全國

僻陬の地まで配布

日の媒體と歴史的思識を「何に満州帝國に開心を持ち日海殿」

契約を履行せず

満洲氷球チー

昨日のアイスホッケ

匪首

省逮捕

· 十五日朝七時二十分着連

から来るで使だ、戦

飲食店で割腹

まんぢゆう二十 ペロリご平げた場句

本人形動が一番殴つて 動でも具体形動が間のため具を開発が開めている 比較的宛て脱へられて来るがいのでいた。 戦闘動物を開発がある。 戦闘動物を開発が形成がある。 戦闘動物を開発が必要がある。

社員會の斡旋で發送

記れた、工

連會館

(A株が野屋以下三十名は十日 | 股市民から販賞が築すること」な画演特電十二日製」駅安○○ | 項によつて爆煙防止ボスターを一 心に於て呼吸三百と交戦の結

拉致さる 石炭公司社員

匪賊卅に襲はれ

陳述により、端なく 皮内(き) 一何れも

四六〇二六三時

繪葉書に ルは數年前外國船 はしいものである するダンスホー で、いつかエロ・ハンターの ・ はつて組織されて居り転逝十曜日 ・ なの、いつかエロ・ハンターの 女子百名、男子百五十名の會員 として一般會員を募り現在では として一般會員を募り現在では として一般會員を募り現在では 産と化し、

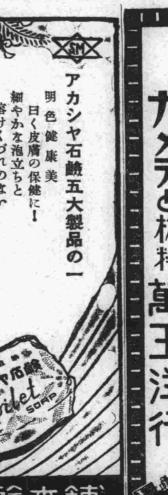
思はせる來

ンヨの月

者は相響多數に上るだらうと、 き取祭き連の數も無慮二百、更 き取祭き連の數も無慮二百、更 ムの行進を開始

八連信濃町市場前

是非。当后公 昇發婦 電話二 六〇





那到 明記すること 間中に

匪賊と交戦

わが軍の戦死傷七名

北満に頻々たる

熱河丸

綠化座談會 大連市社會課で

)煤煙防止の要點を表明する

し七日大連へ けふ一般に開放

同港に商船からの入港は熱河丸を 糖賦熟河丸(七、〇〇〇順)は去東京配送補に整留中の日南航路連 酸に重つて東

貨物船沈沒『長崎十二日

(十三日) 風の南

外國船員慰安の名に隱れて

の巣

局も呆れる醜態

協會動務機不田





により切れ味益々冴を斯界の最ト剃双は、新型ヂレツト剃刀器 高標準たる名に背かず!

名物にからなり林洋行の羊美、林温 最新のモード 優秀な御仕山 高級婦人服士 東京浅草 ヤの香り 最新型カメラ輸入荷 石 物店・雑貨店・乗店等 石 6 無型剃刀器にも完全に嵌ります 大光作品。 は胃はをこわされ頭痛藥 時計店・百貨店・消費が到る處の一流雑貨店

"野球を語る座談會

生活豪奢を極む

(歌院鮮明大のアイスホッ) 瀬散籔を促進すべい。 電出場のため町下線原中 み観光観では一番 ・一番の場別を示して

諸共死刑か るて省域巴皮門裡

英地の従業員へ

(+)

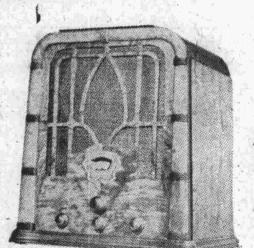
異

半時五夕毎リよ日三十

園劇じらかす



送局間」雑音調整器、唸音鎭壓器明目盛盤自動音量調整器、音調調組合せキヤビネツトに收まり、電



モデルー 〇球 賣出期間中特價 一〇七號

超ヘトロダインラヂオ 金壹百六拾圓也

陳列中の其他のモデル



ラヂオ御買求の際は御決定 以前に是非一度弊社のラヂ オを御献聽下さい 此等の外に各種多様に取揃

製造破損に對しては絕對保 證します

ヤビネツトに収まり、出力Bクララデオで肚大なベイカライト製キーと回路附超へトロダイン乾電池用

キャビネットに収まり、自動音量好く釣合のとれた美くしい組合せ

モデル第七四號

大連市山縣通五四 電話二・四七五六



科 目艮 院 醫 場 馬 江庄場馬 ルトクド ハセ五八:電・詰橋盤常連丈



國産品

0,35(A)

モデル第一一六一號

でもある

医季博士。大槻満次郎 大連市結膜字二四(大連運動場前) 電三·三三五三皆

き出づる叡智の源泉

呼呼子福氏作

福氏作 演

空三一町園公西市連大 「東マダ車電前門正園公央中) 番九五八四・二電

满

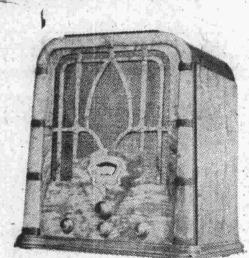
世界に知られた

さ

『ステワートワナー』ど 『ギルフイラン』ラヂオの

向ふ十日間限り

宣傳特別大賣出し



大連撃徳街四丁目一度本剣を殊に肺、

三、服用すればスグ急性はいたみ去り慢性も排腺が

注射同効の新劑

筋堺町寺賽久南市阪大 堂 進 善 內 宮 舖本 番七五阪穴替掘

リナナ宮護な

品 産國秀優

二〇錠入

モデル第三二號